

令和元年度

県営水道フレンズ
第2回アンケート調査の結果

令和元年12月

神奈川県企業庁

目 次

I 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査内容	1
3	調査対象	1
4	調査方法	1
5	調査期間	1
6	回答率	1

II 調査結果

1	水道水の飲用	3
2	水道水のおいしさ	5
3	水道水の水質	7
4	節水意識	13
5	節水行動	15
6	災害対策：断水の発生	17
7	災害対策：水の備蓄	19
8	災害対策：県営水道の取組	21
9	水道の施設整備	23
10	かながわの水がめの貯水状況	25

資料	： 令和元年度 第2回水道フレンズアンケート調査票	27
----	---------------------------	----

I 調査の概要

1 調査目的

「県営水道フレンズアンケート調査」は、県営水道フレンズの皆さんに対して、県営水道に対する理解度やニーズを把握し、今後の県営水道事業経営や広報活動の基礎資料として活用するとともに、お客さまの県営水道に対する理解を深めることを目的として実施しました。

2 調査内容

- (1) 水道水の飲用
- (2) 水道水のおいしさ
- (3) 水道水の水質
- (4) 節水意識
- (5) 節水行動
- (6) 災害対策：断水の発生
- (7) 災害対策：水の備蓄
- (8) 災害対策：県営水道の取組
- (9) 水道の施設整備
- (10) かながわの水がめの貯水状況

3 調査対象

県営水道フレンズ登録者 284 人

4 調査方法

インターネットによる回答（電子申請システム）

5 調査期間

令和元年 10 月 10 日（木）～10 月 23 日（水）

6 回答率

回答数	169 件
回答率	59.5%

<参考>回答者の内訳

当アンケート回答者の内訳は以下のとおり

表 1

性別	人数
男性	90
女性	79
計	169

表 2

年代別	人数
20代	2
30代	22
40代	44
50代	27
60代	31
70代	38
80代	5
計	169

表 3

地域別	人数
相模原市	52
鎌倉市	8
逗子市	5
葉山町	0
藤沢市	28
茅ヶ崎市	15
寒川町	3
平塚市	8
二宮町	1
大磯町	4
厚木市	24
伊勢原市	4
海老名市	3
大和市	12
綾瀬市	2
小田原市	0
愛川町	0
箱根町	0
計	169

表 4

職種	人数
会社員	49
自営業	7
主婦・主夫	36
パート・アルバイト	25
学生	1
無職	44
その他	7
計	169

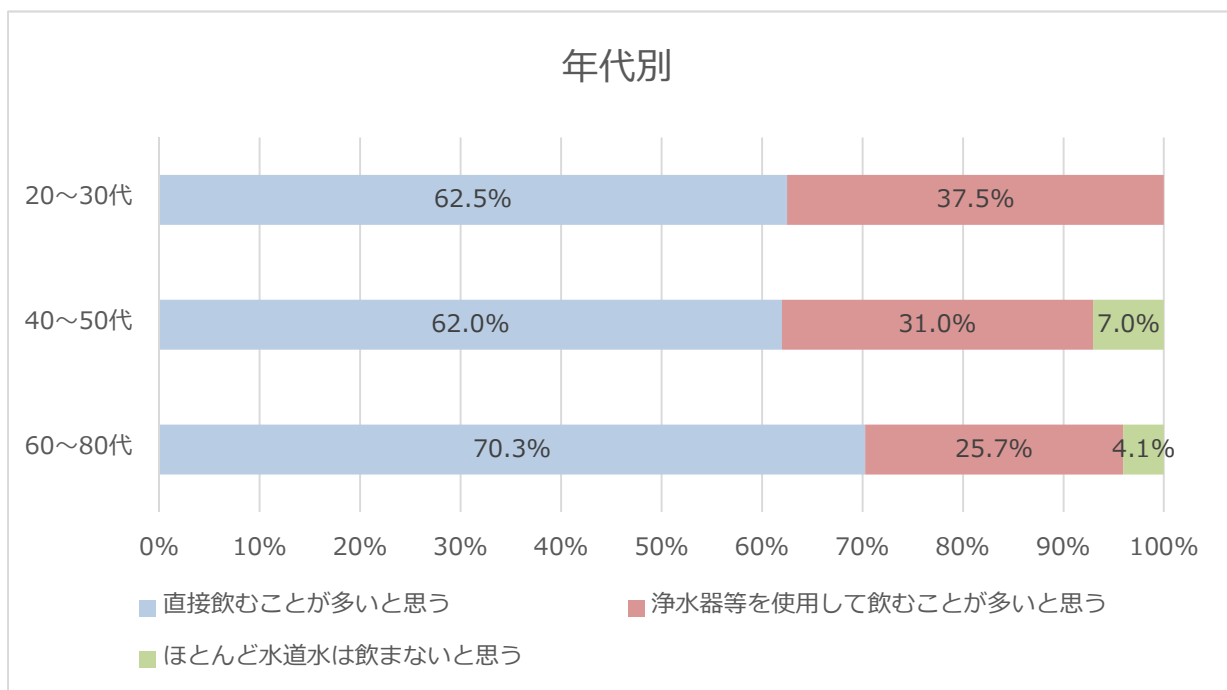
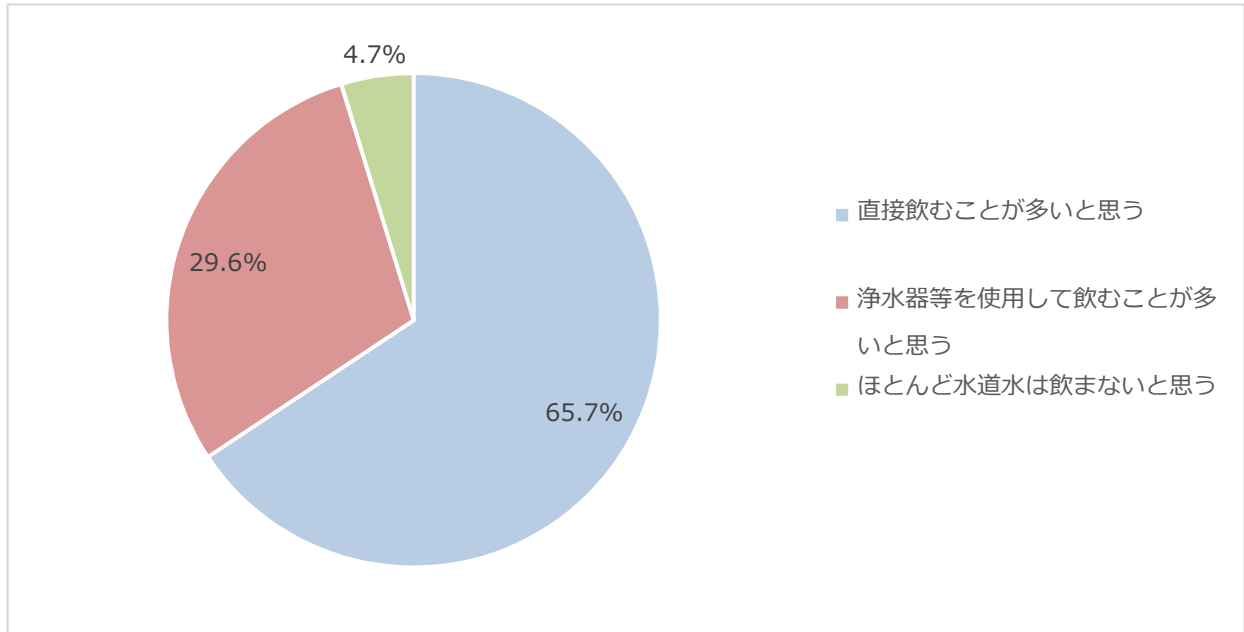
II 調査結果

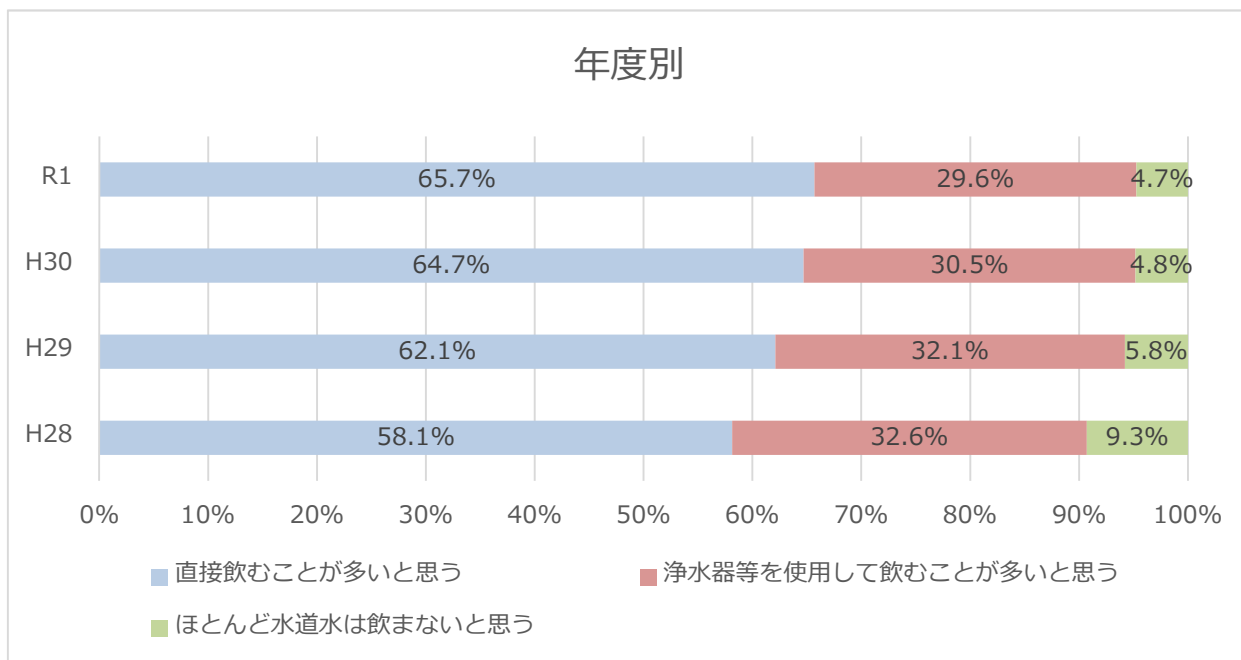
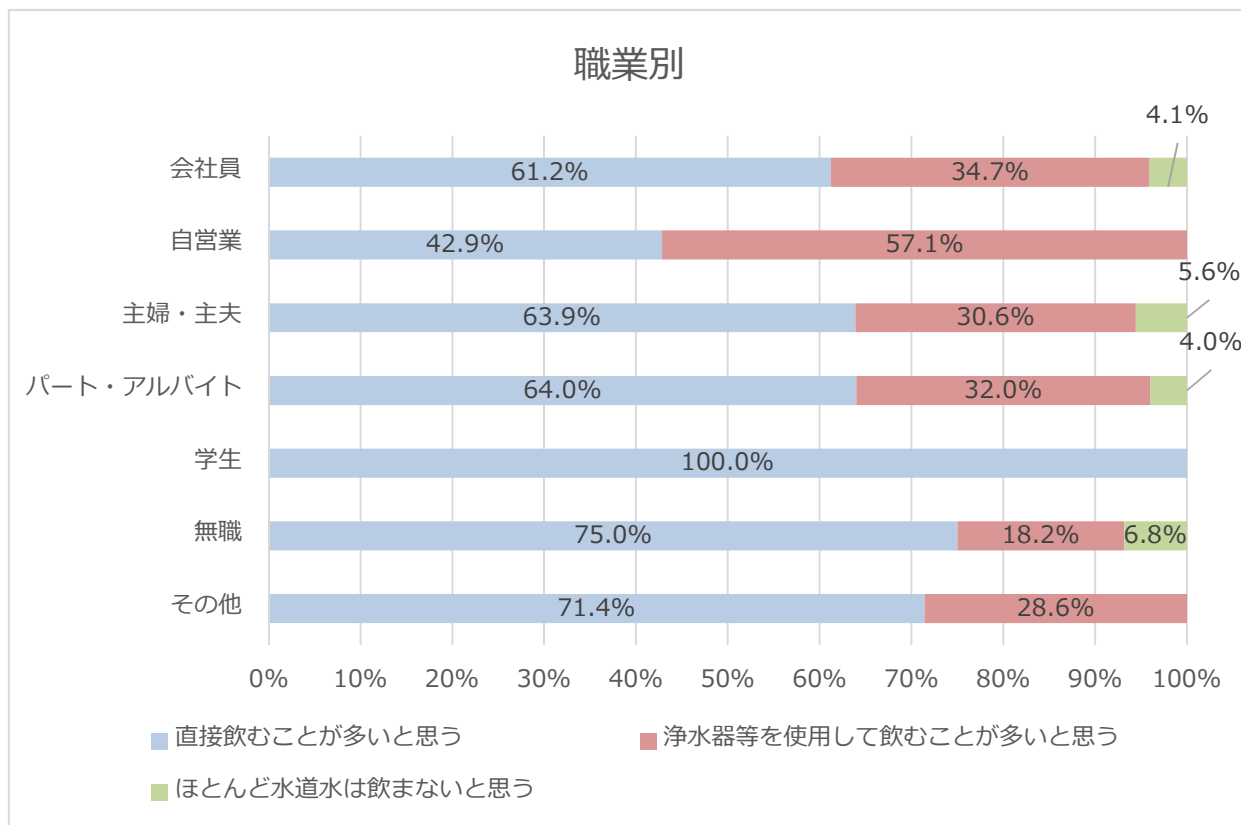
※回答の構成比(%)は小数点以下を端数処理しているため、合計が100とならない場合もあります。

質問1 水道水の飲用

「普段から県営水道の水道水を飲んでいますか。」

「直接飲むことが多いと思う」と回答した人の割合が65.7%と最も高く、「浄水器等を使用して飲むことが多いと思う」が29.6%、「ほとんど水道水は飲まないと思う」が4.7%となった。

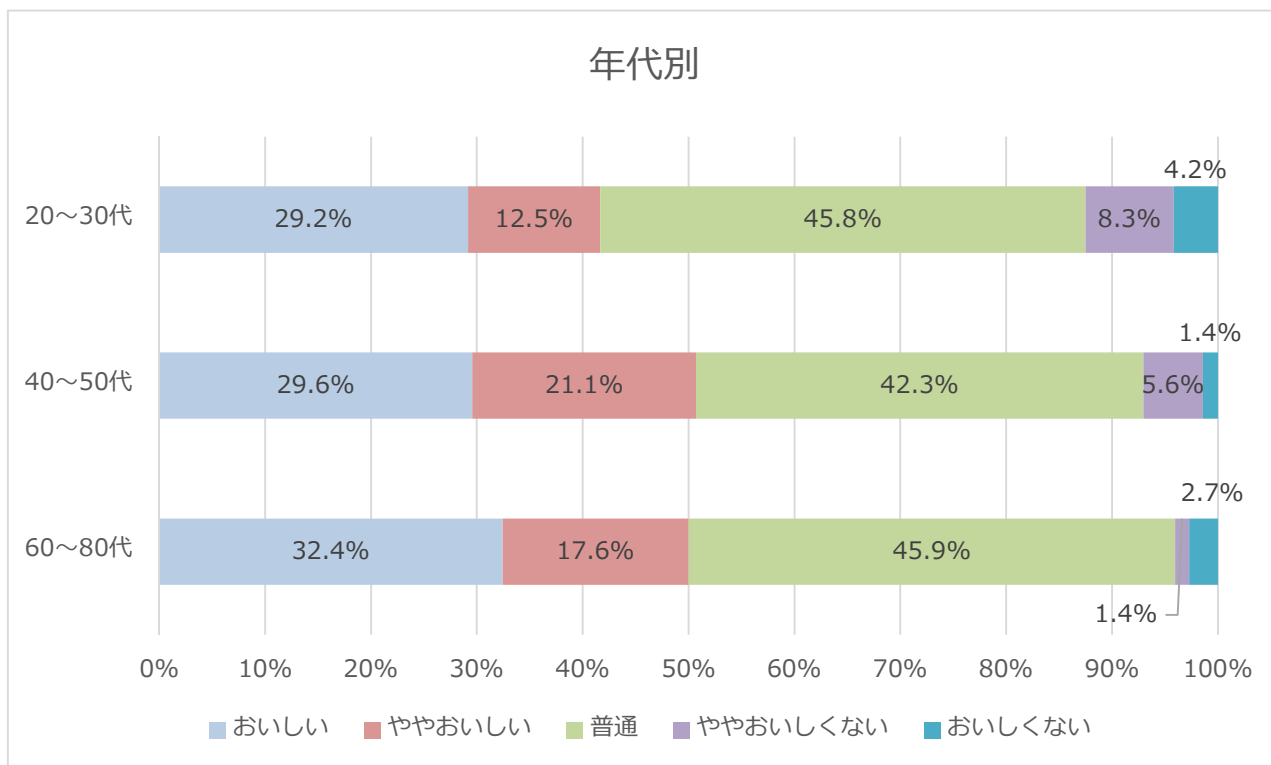
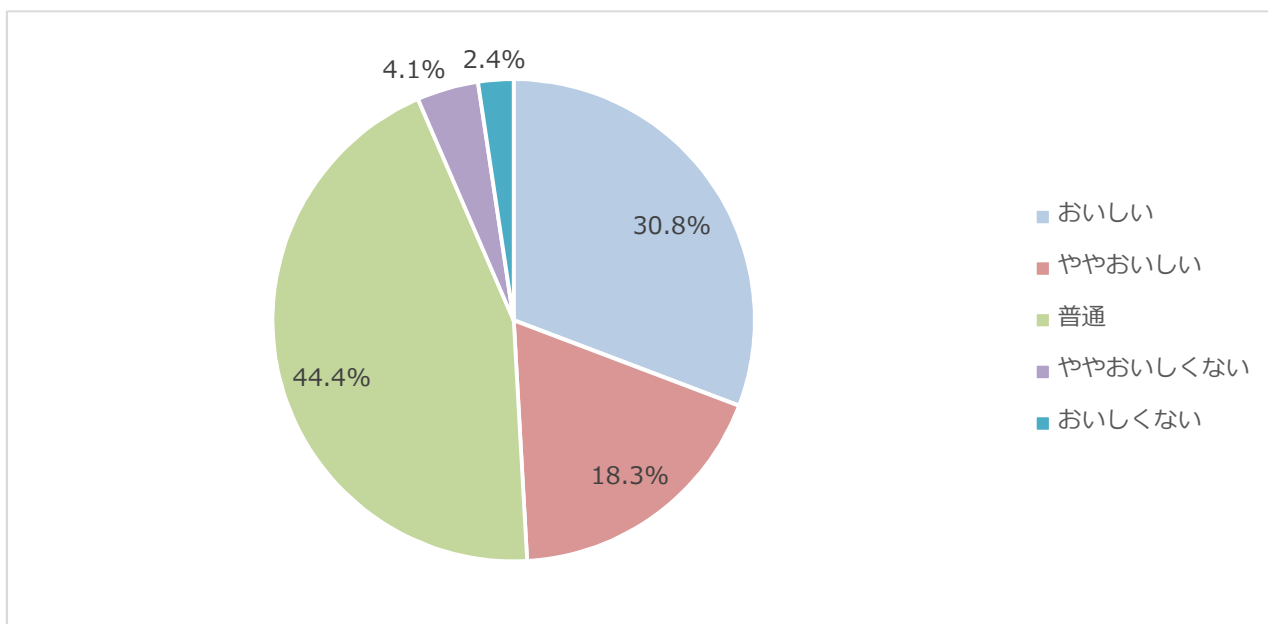




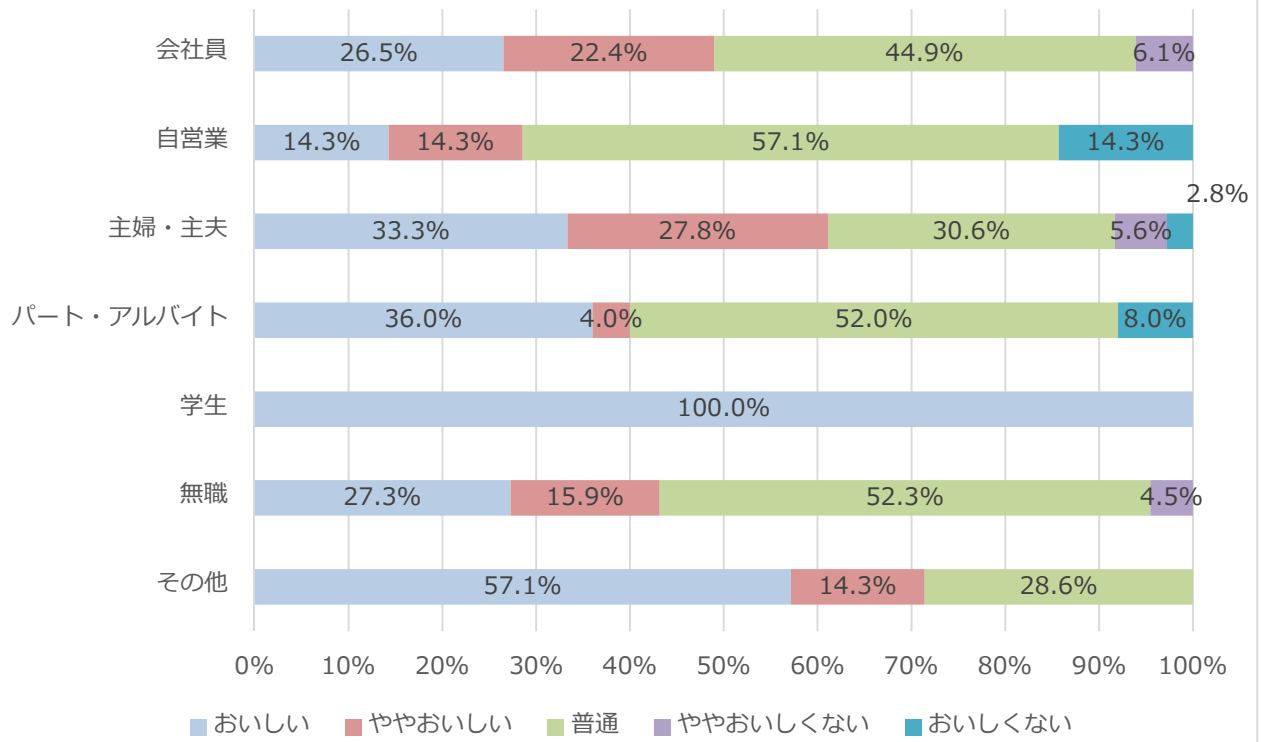
質問2 水道水のおいしさ

「県営水道の水道水をそのまま飲んだ時に、おいしいと思いますか。」

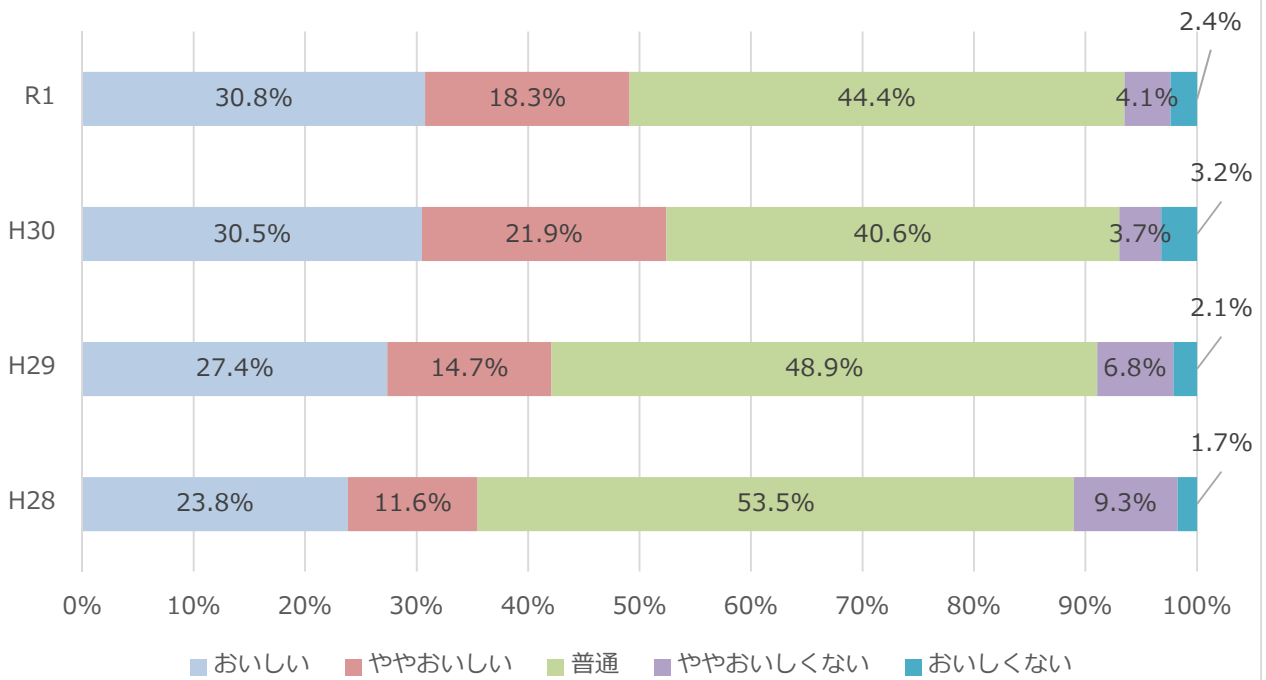
「普通」と回答した人の割合が 44.4%と最も高く、「おいしい」「ややおいしい」と回答した人の割合が 49.1%、「ややおいしくない」「おいしくない」と回答した人の割合が 6.5%となった。



職業別



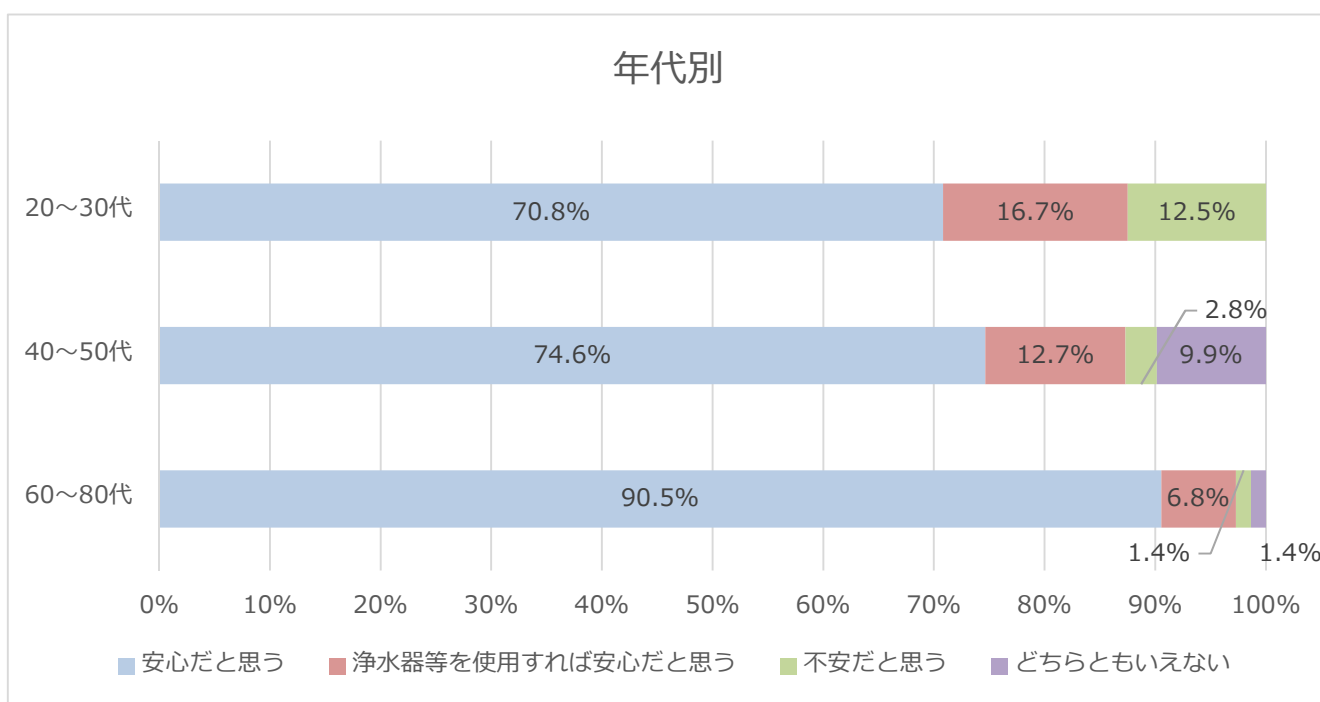
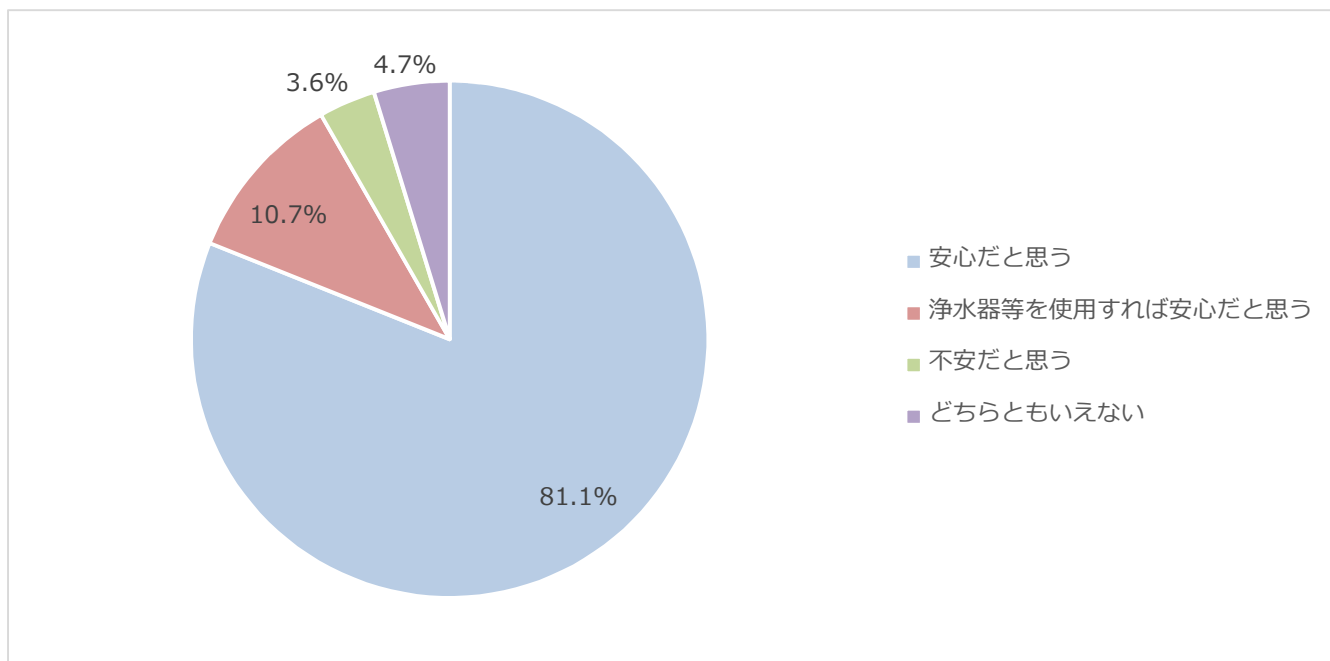
年度別

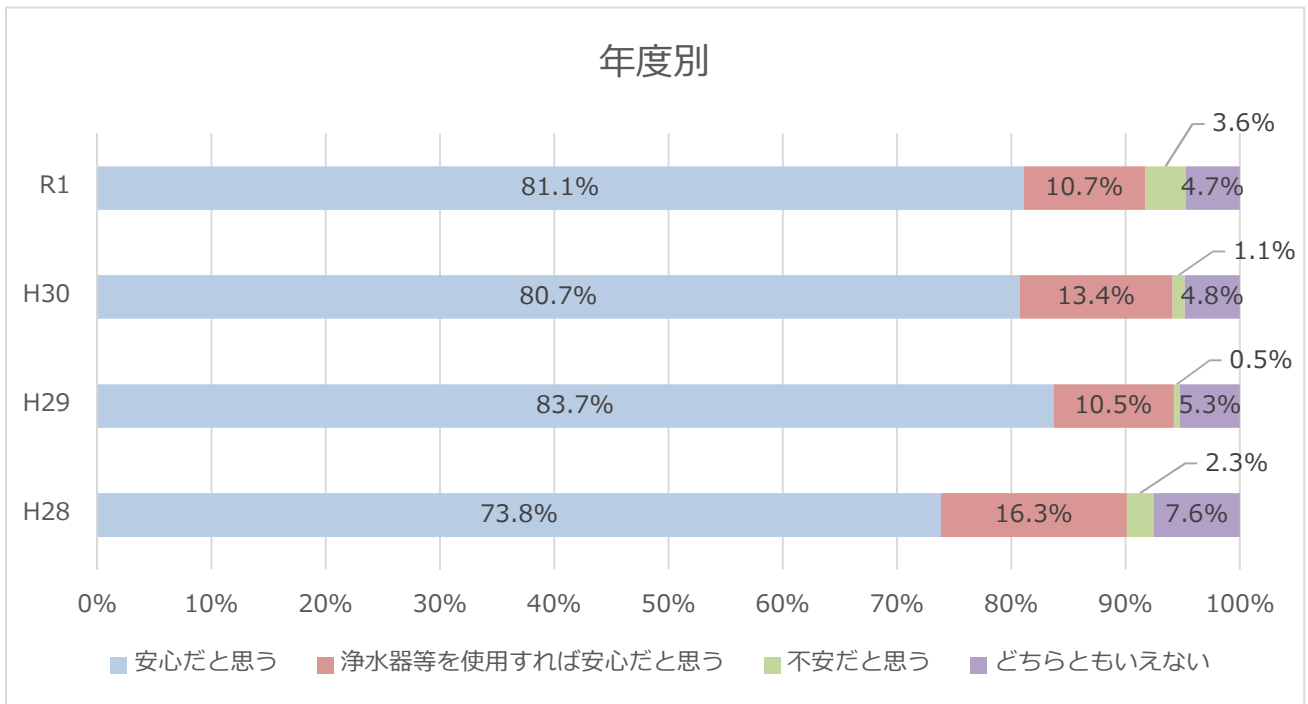
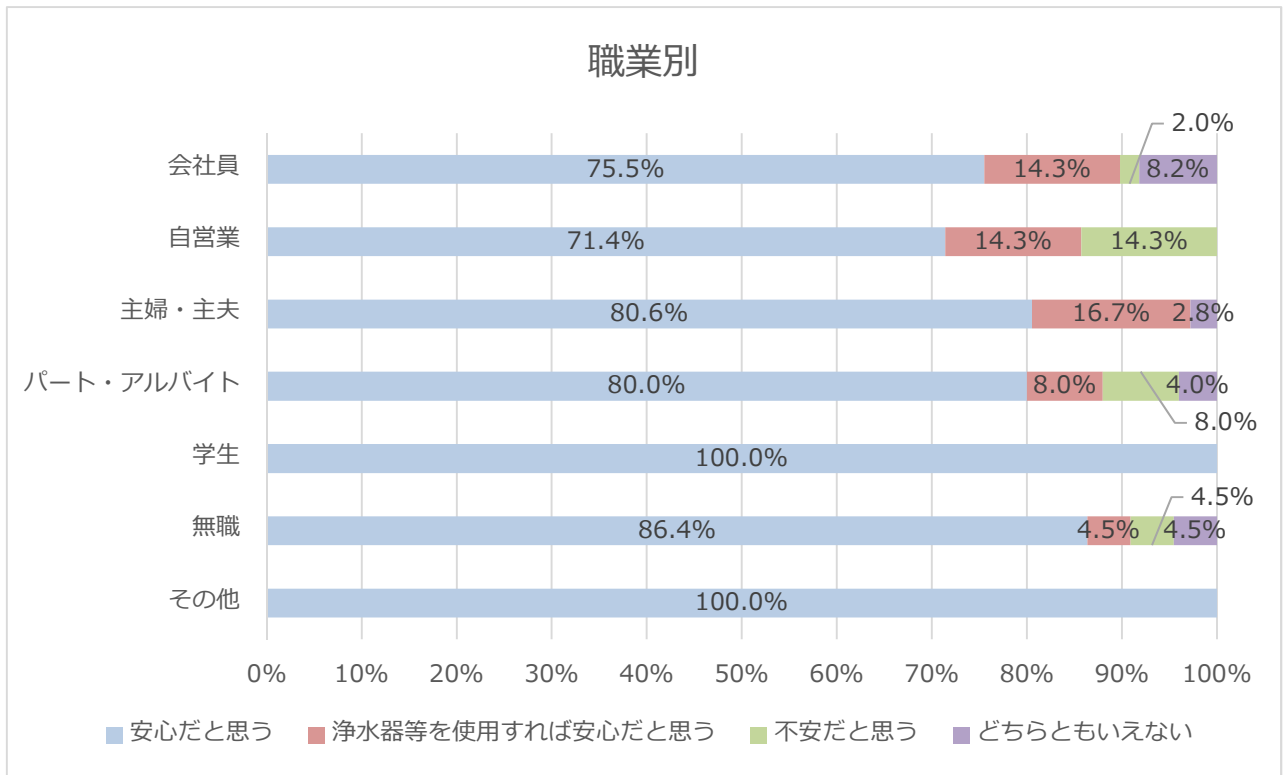


質問3 水道水の水質

「県営水道の水道水の水質は安心だと思いますか。」

「安心だと思う」と回答した人の割合が 81.1%と最も高く、「浄水器等を使用すれば安心だと思う」と回答した人の割合が 10.7%、「不安だと思う」と回答した人の割合が 3.6%、「どちらともいえない」と回答した人の割合が 4.7%となった。



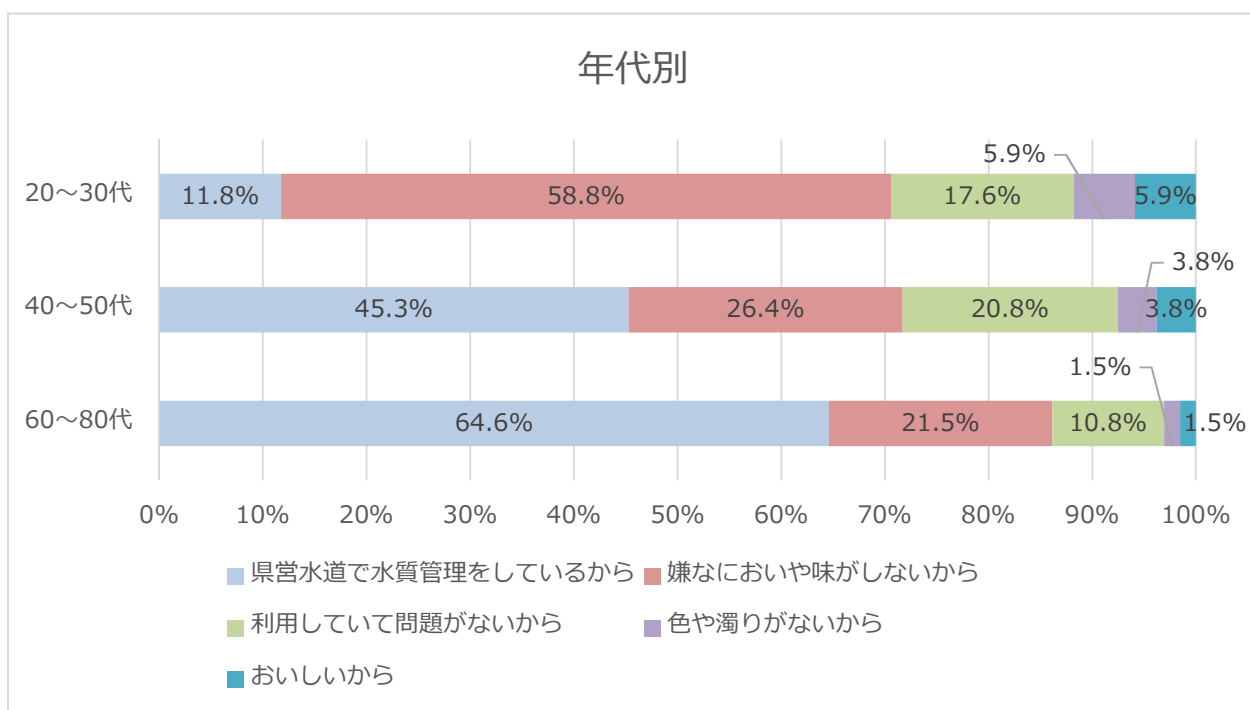
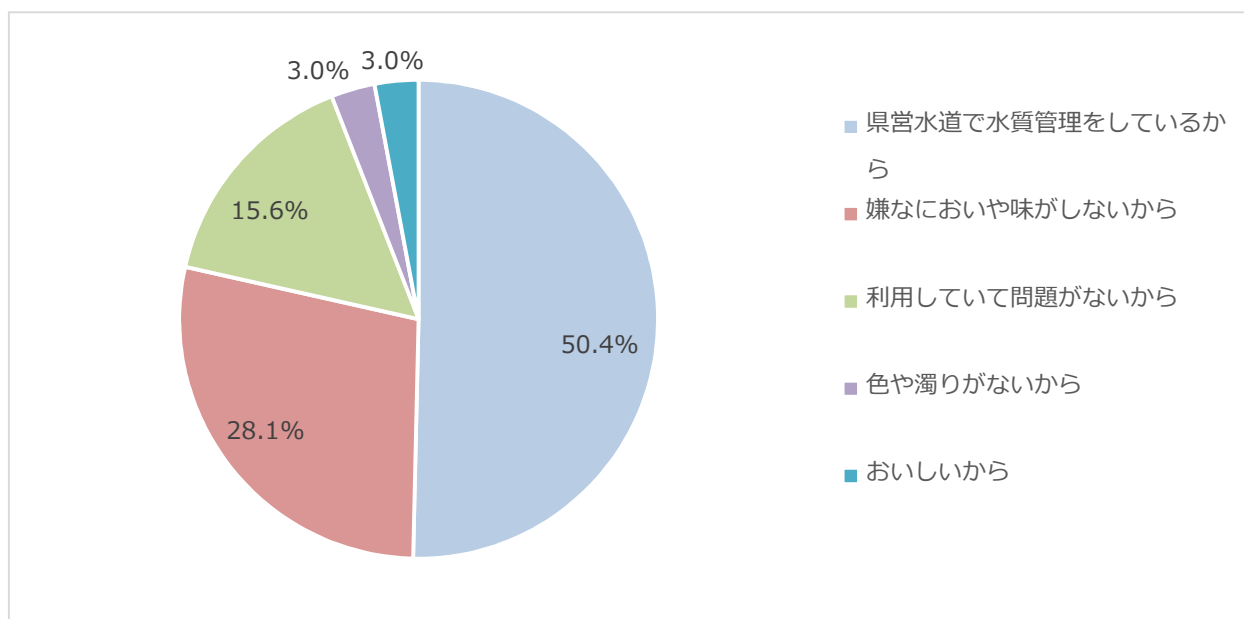


質問3 (1) 水道水の水質が安心できる理由

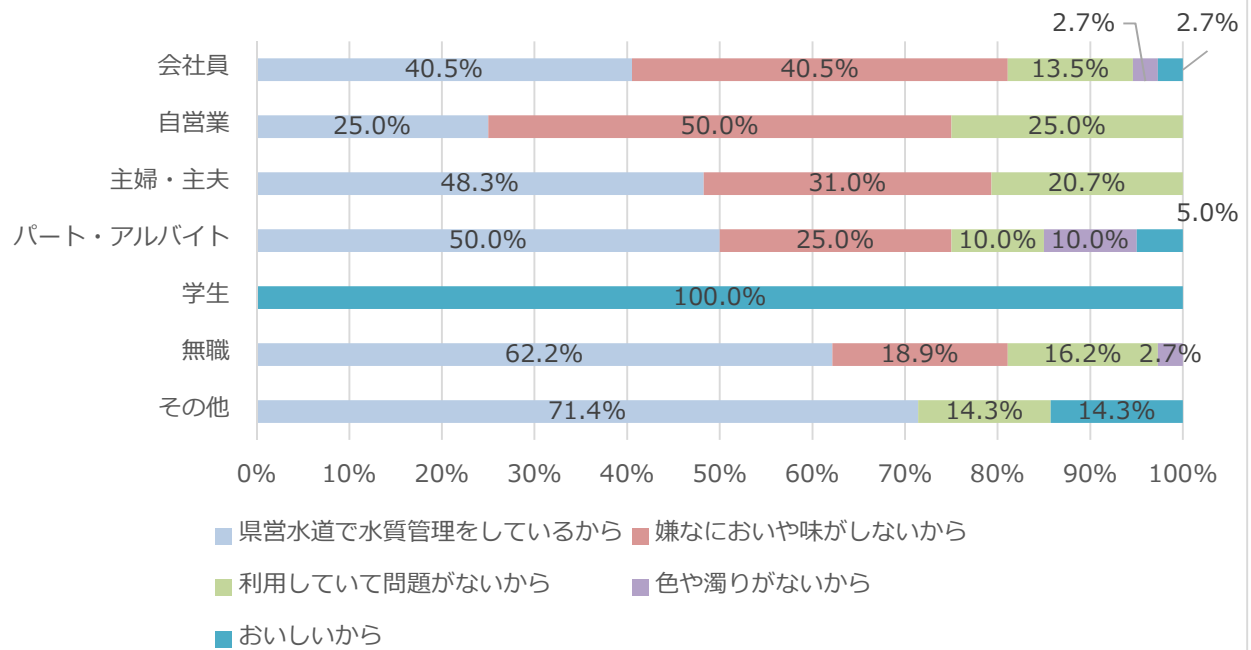
※ 回答対象：「安心だと思う」と回答した人（137名/169名）

「安心できる理由について、あなたの考えに近いものをお選びください。」

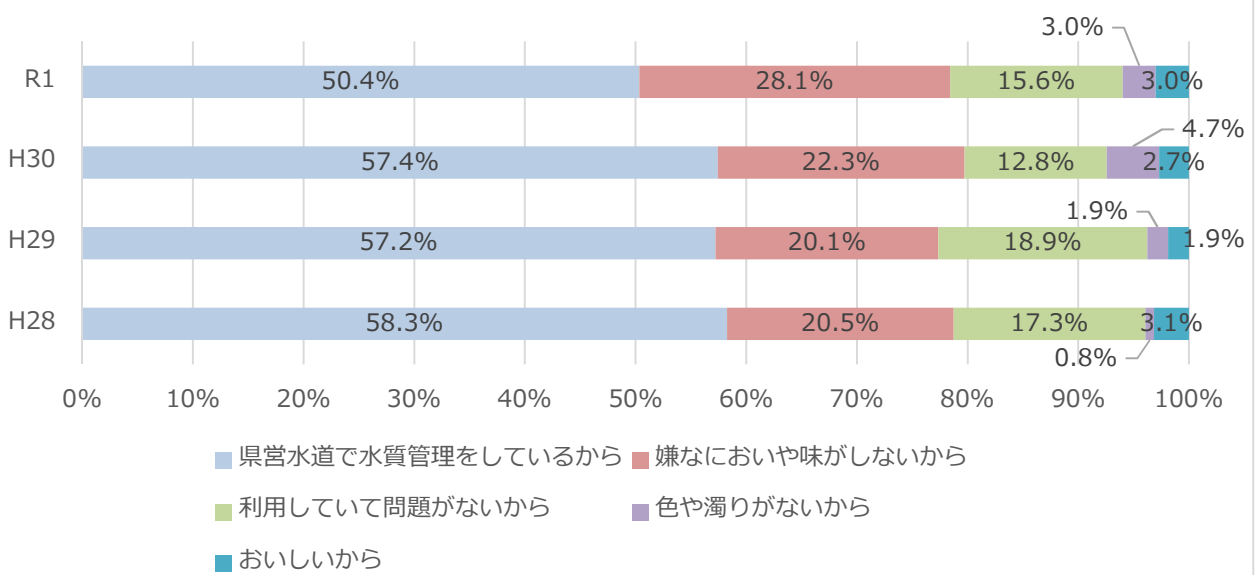
「県営水道で水質管理をしているから」と回答した人の割合が 50.4%と最も高く、次に「嫌なにおいや味がしないから」と回答した人の割合が 28.1%、「利用していて問題がないから」と回答した人の割合が 15.6%、「色や濁りがないから」「おいしいから」と回答した人の割合が 6.0%となった。



職業別



年度別



質問3 (2) 浄水器等を使用する、または不安だと思う理由

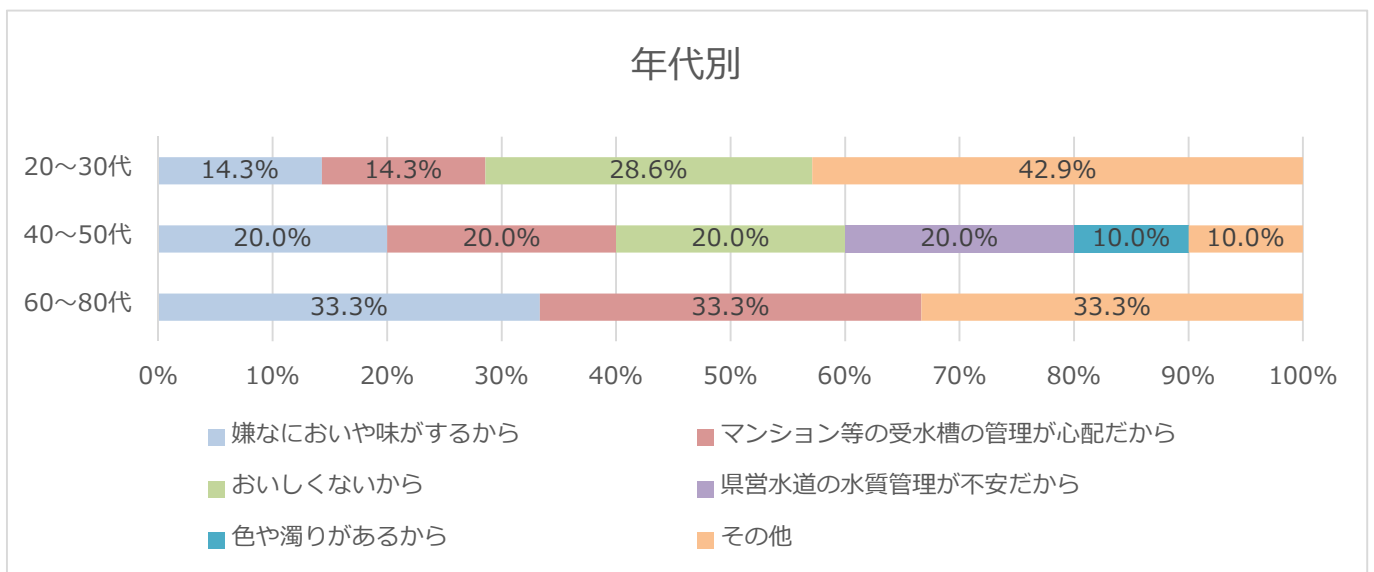
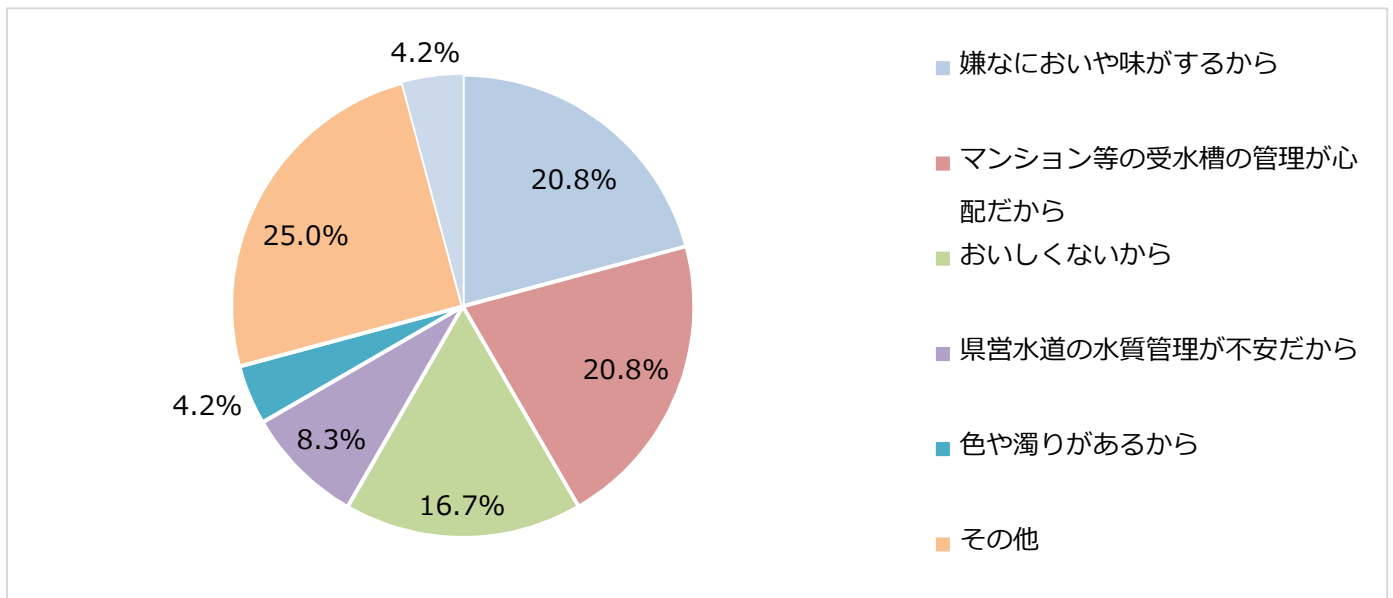
※ 回答対象：「浄水器等を使用すれば安心だと思う」または「不安だと思う」と回答した人 (24名/169名)

「浄水器等を使用する、または不安だと思う理由で、あなたの考えに近いものをお選びください。」

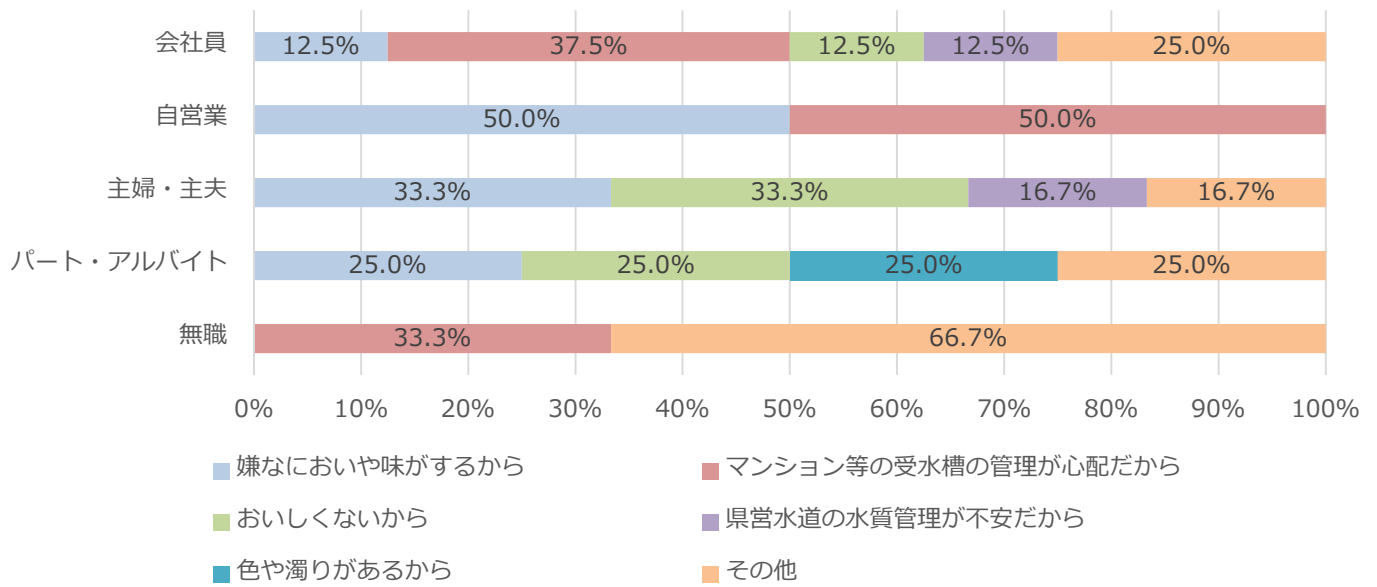
「嫌なにおいや味がするから」「マンション等の受水槽の管理が心配だから」と回答した人の割合がそれぞれ21.7%と最も高く、次に「おいしくないから」と回答した人の割合が17.4%、「県営水道の水質管理が不安だから」「色や濁りがあるから」と回答した人の割合が合わせて13.0%、「その他」が26.1%となった。

※「その他」のご意見

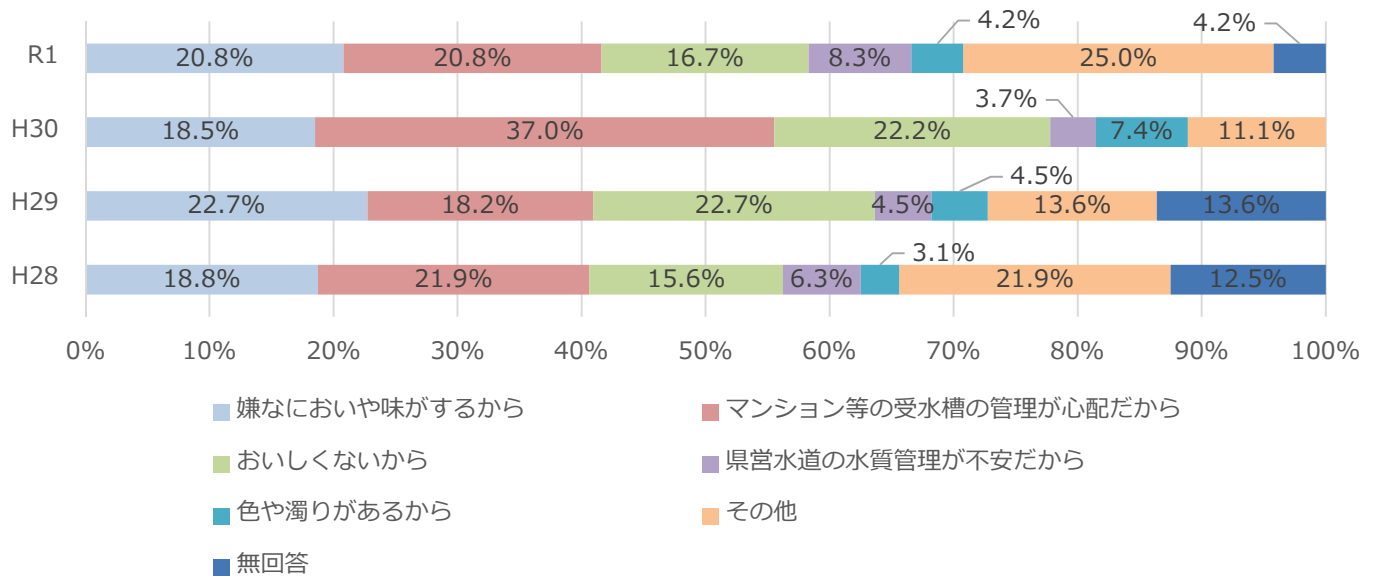
・浄水器を使ったほうがまろやか、気休め、宅内の水道管が不安だから など



職業別



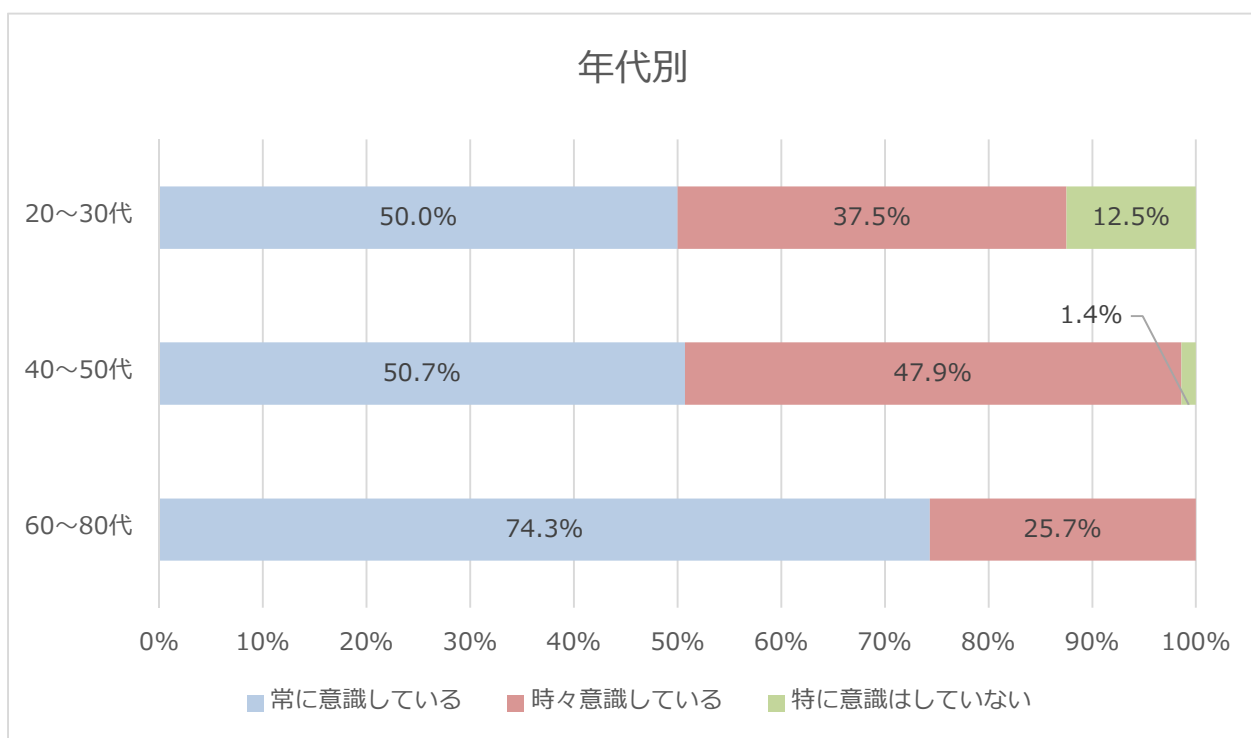
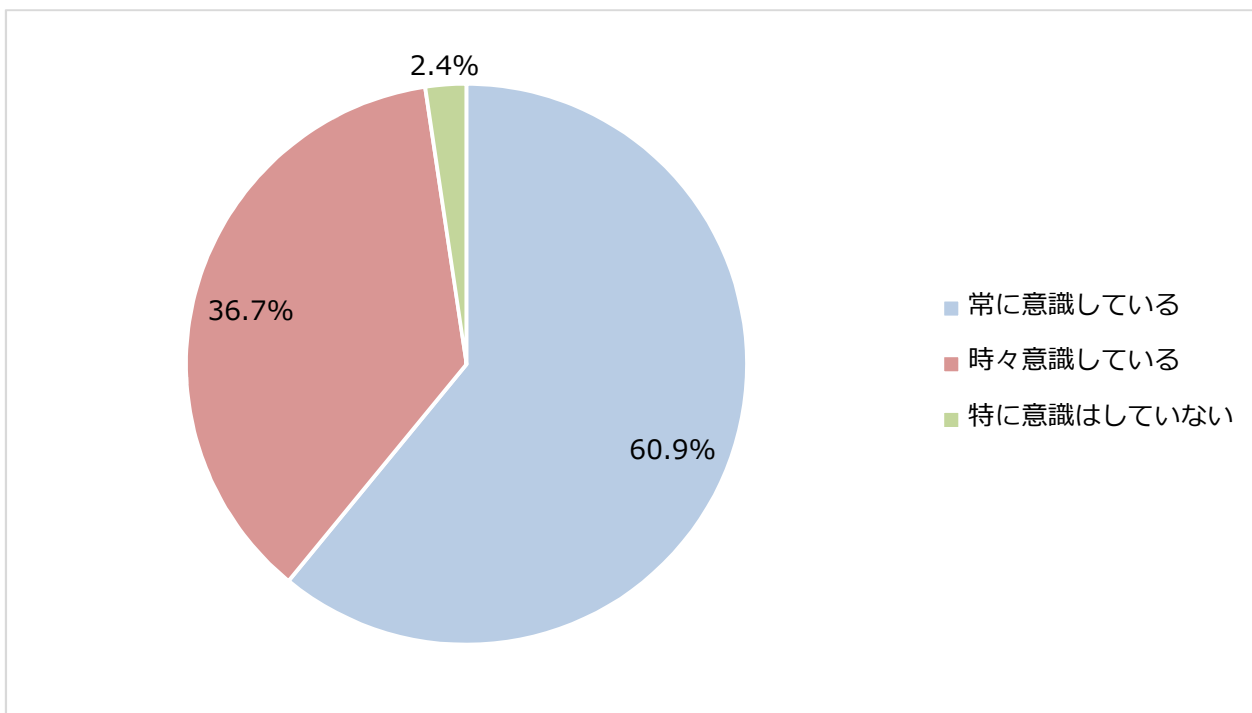
年度別



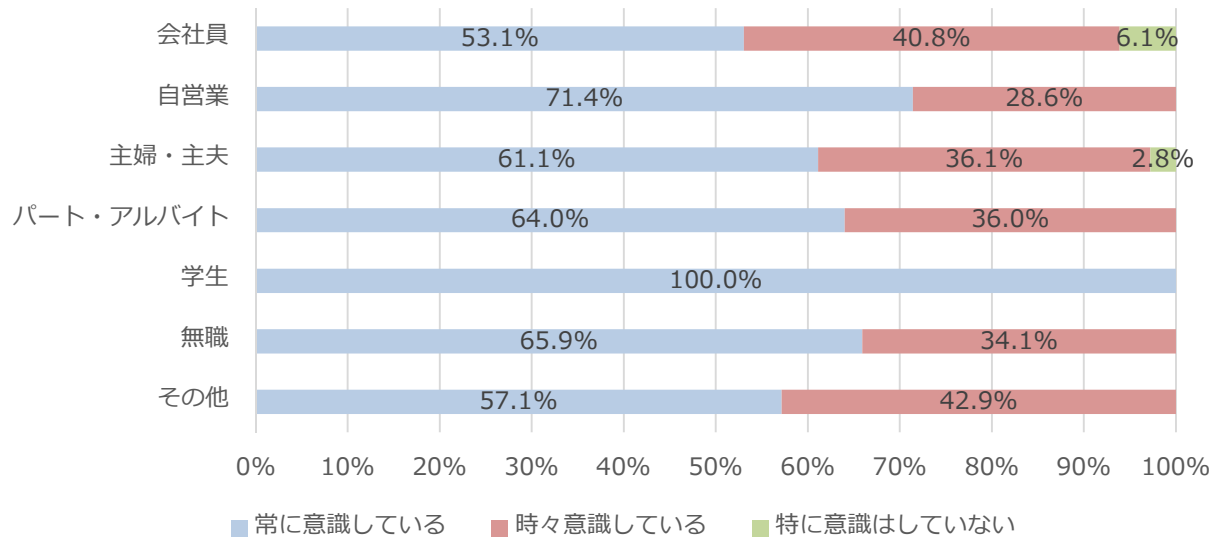
質問4 節水意識

「ご家庭で節水を意識していますか。」

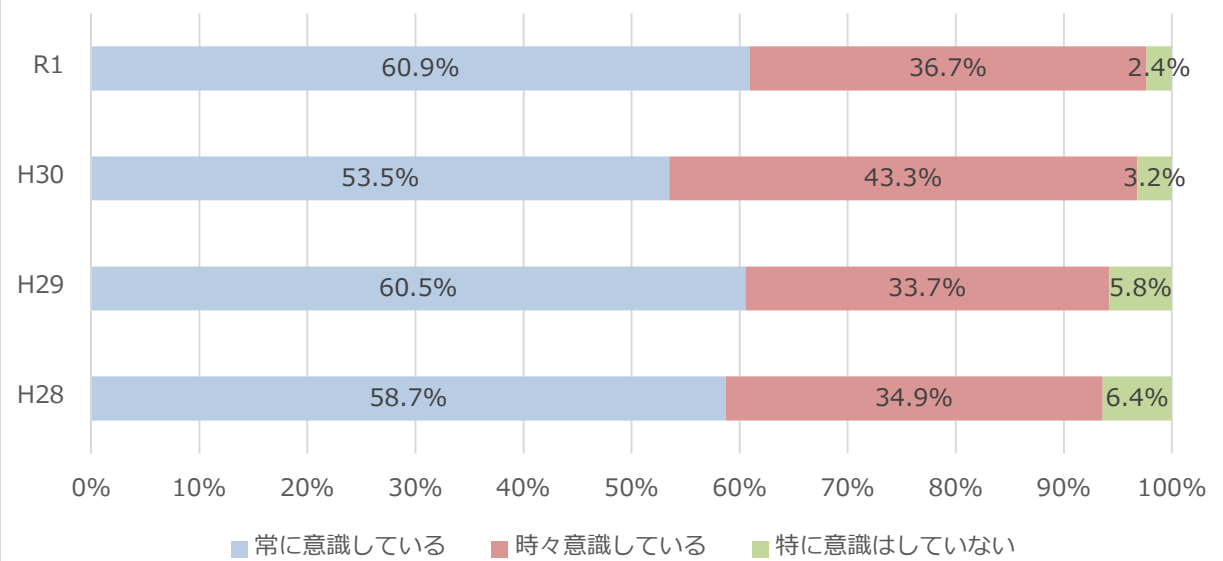
「常に意識している」と回答した人の割合が 60.9%、「時々意識している」と回答した人の割合が 36.7%、「特に意識はしていない」と回答した人の割合が 2.4%となった。



職業別



年度別



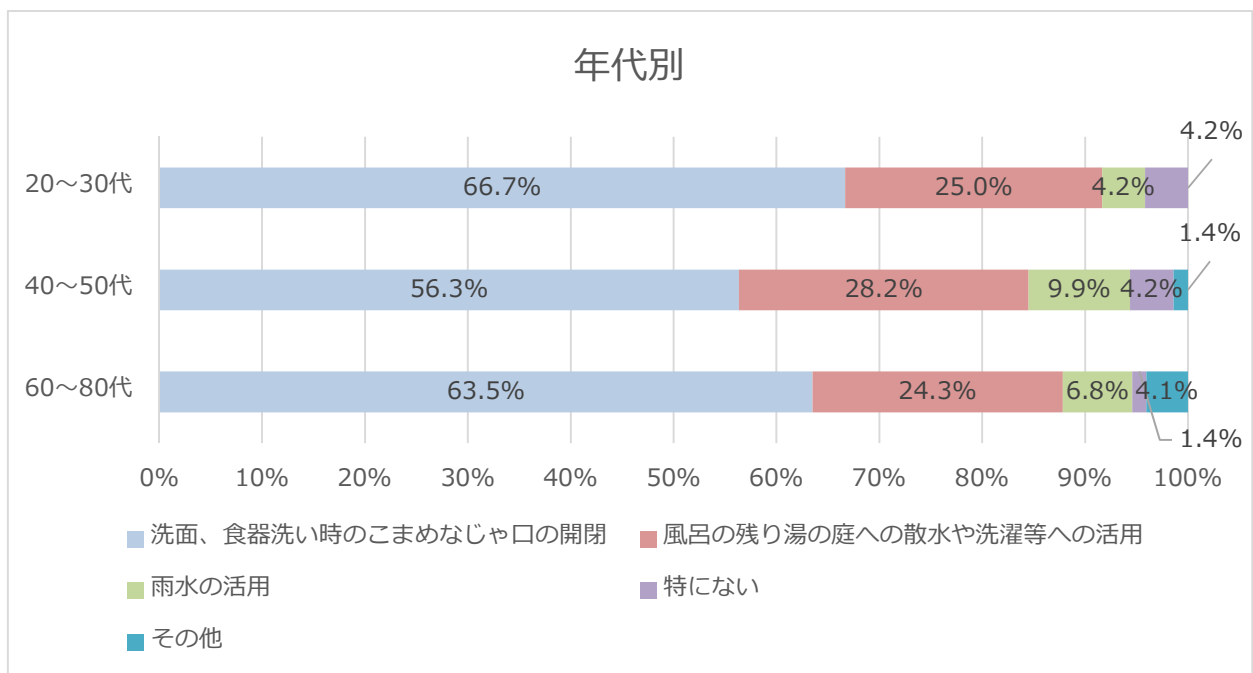
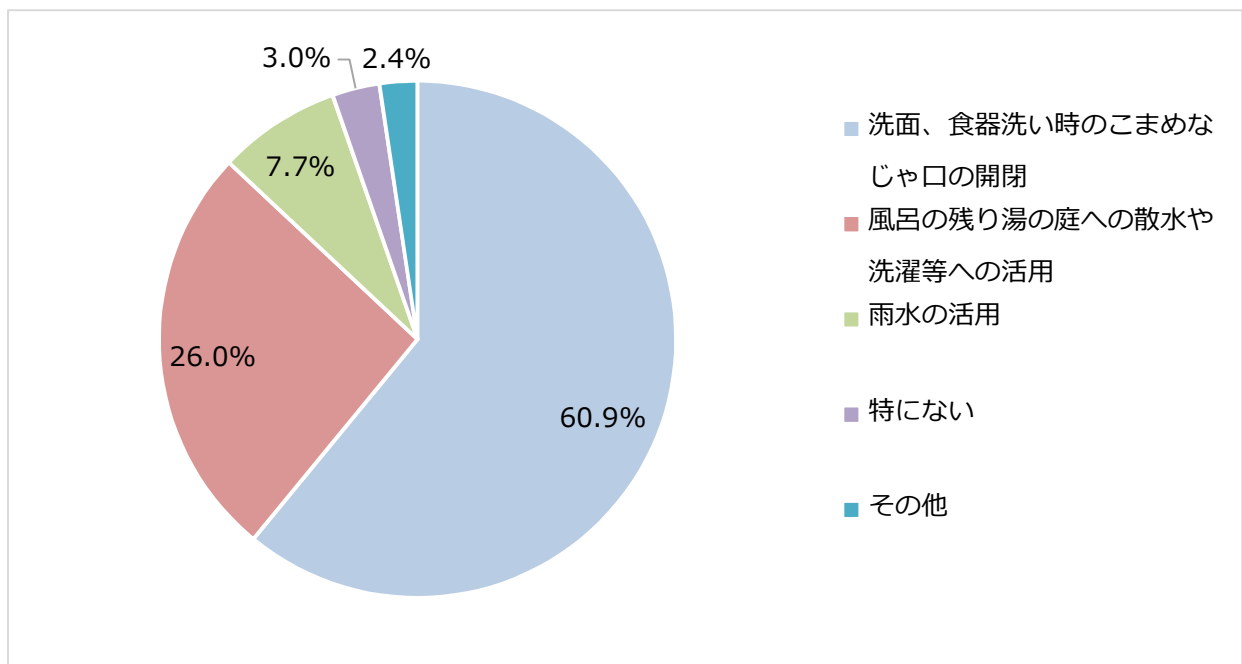
質問5 節水行動

「節水に最も効果的であると感じる行動はどれだと思いますか。」（1つのみ回答）

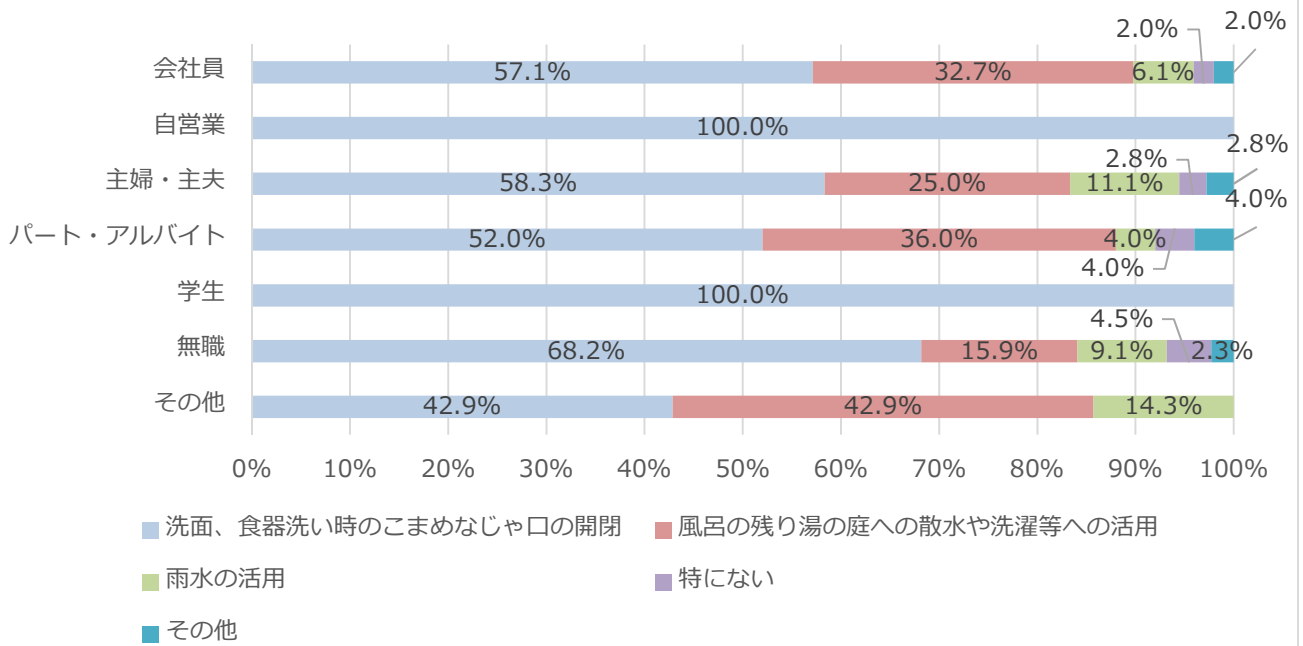
「洗面、食器洗い時のこまめなじゃ口の開閉」と回答した人の割合が60.9%と最も高く、次に「風呂の残り湯の庭への散水や洗濯等への活用」と回答した人の割合が26.0%、「雨水の活用」と回答した人の割合が7.7%、「特にない」と回答した人の割合が3.0%、「その他」と回答した人の割合が2.4%となった。

※「その他」のご意見

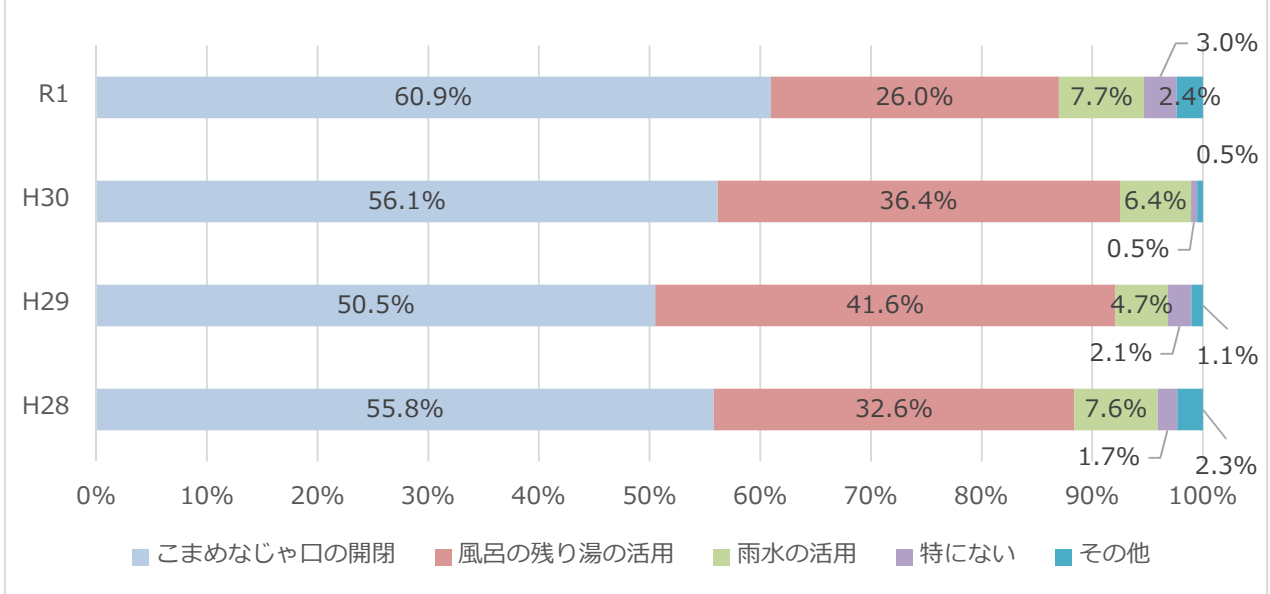
- ・出しすぎにしない、小水時流さない、洗濯をまとめてやる など



職業別



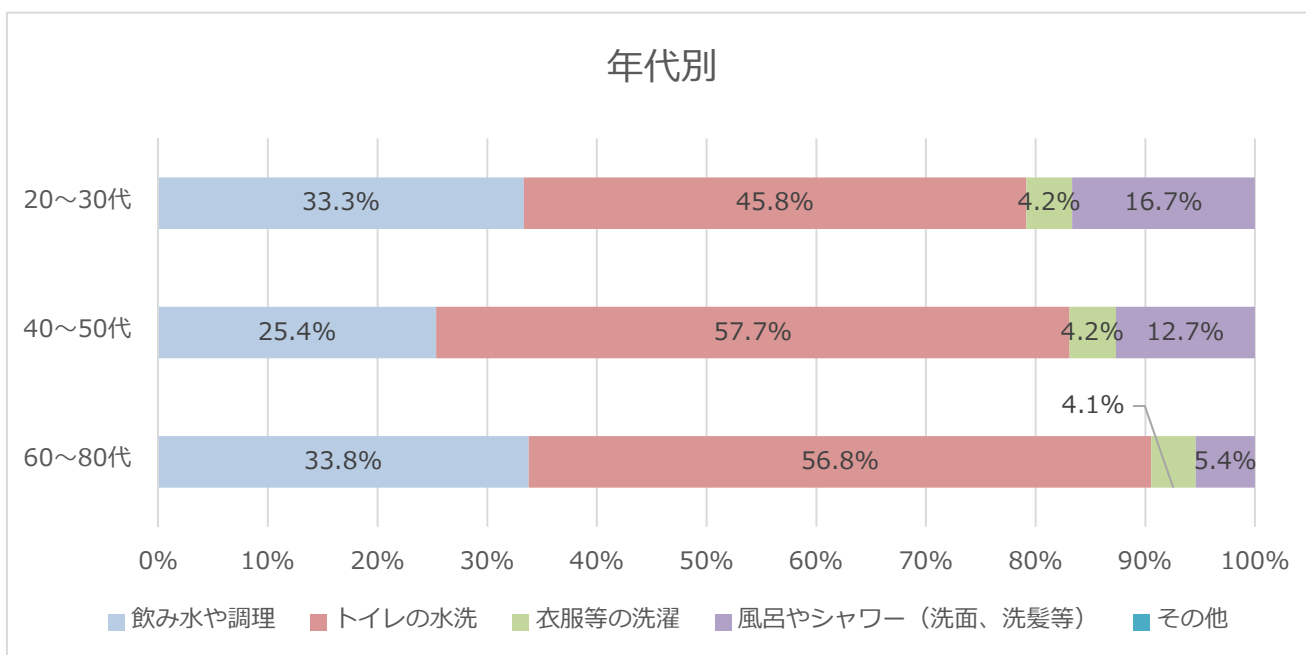
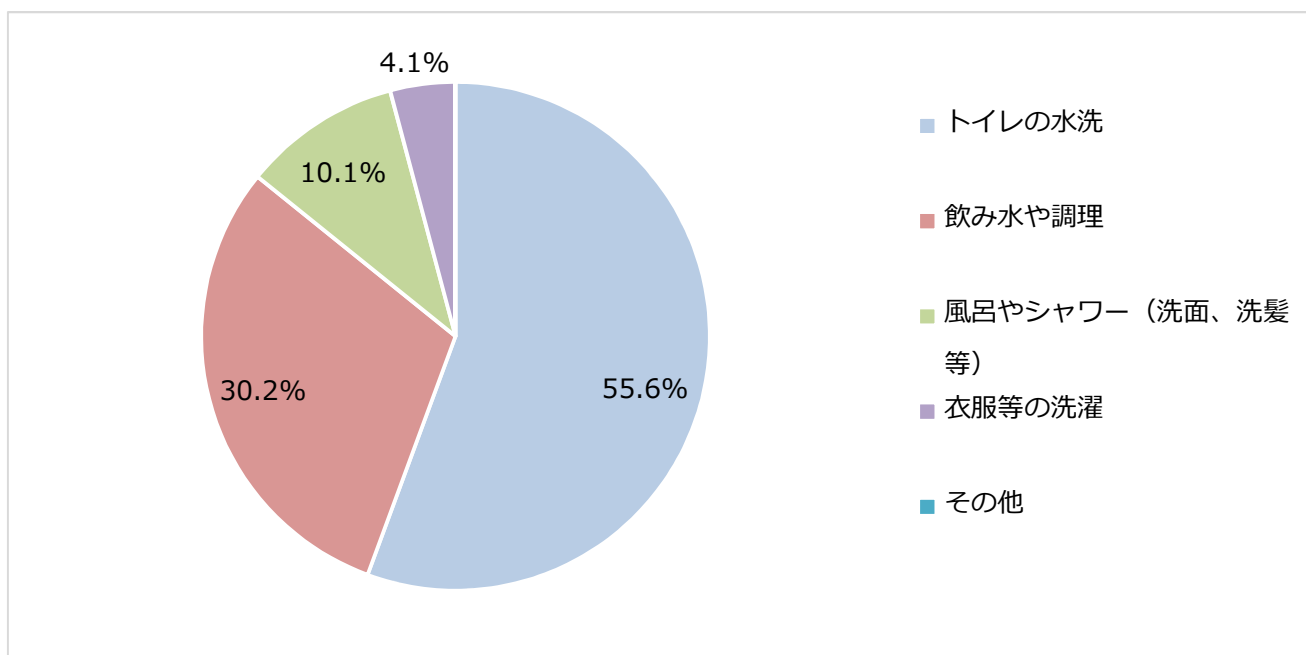
年度別



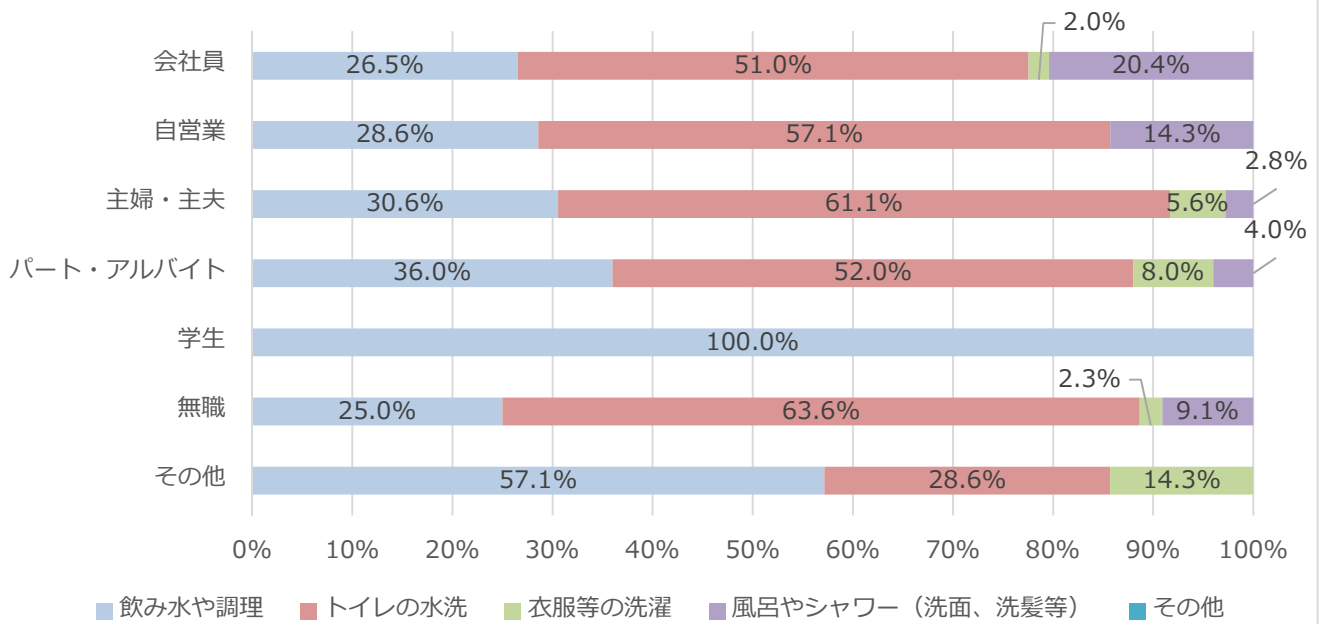
質問6 災害対策：断水の発生

「水道が断水した際に、あなたが一番困ることは何だと思いますか。」（1つのみ回答）

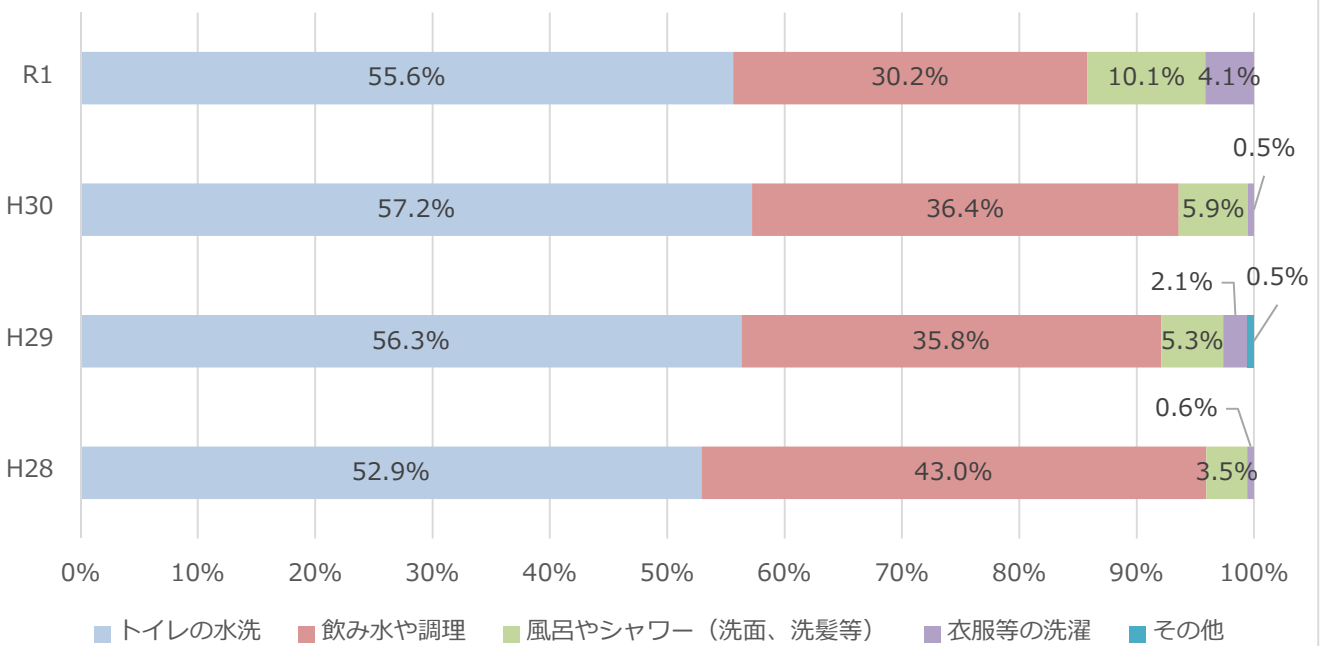
「トイレの水洗」と回答した人の割合が 55.6%と最も高く、次に「飲み水や調理」と回答した人の割合が 30.2%、「風呂やシャワー」と回答した人の割合が 10.1%、「衣服等の洗濯」と回答した人の割合が 4.1%、「その他」と回答した人はいなかった。



職業別



年度別

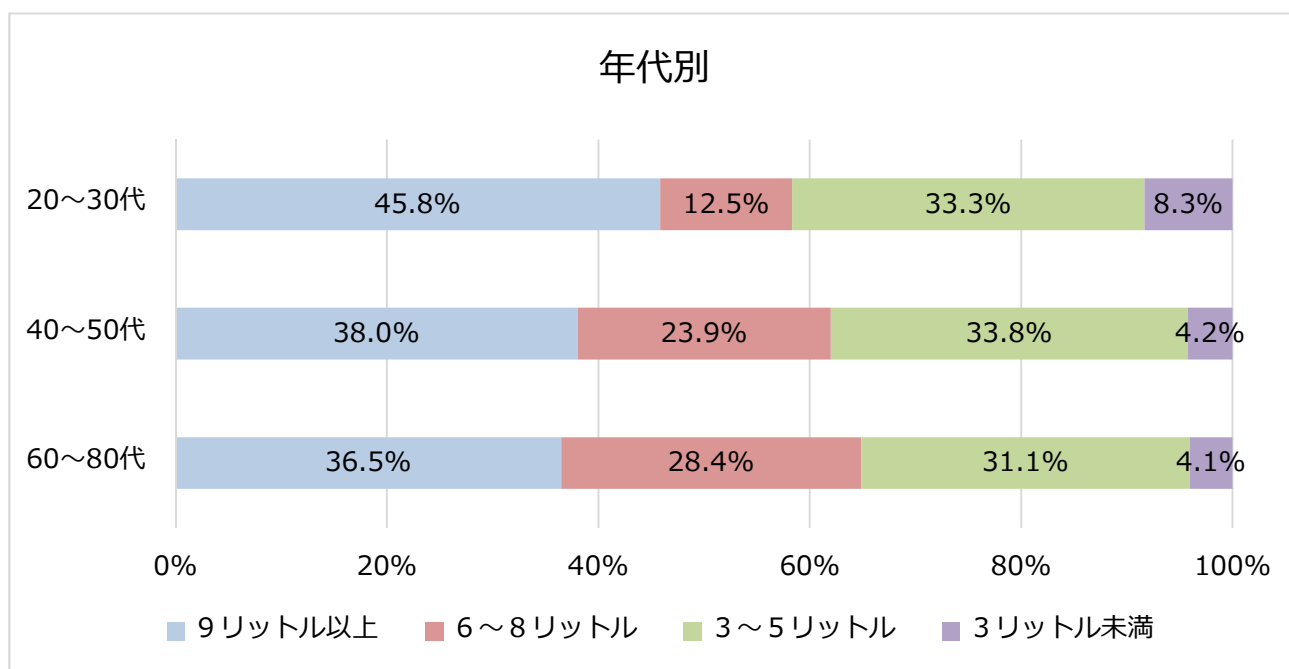
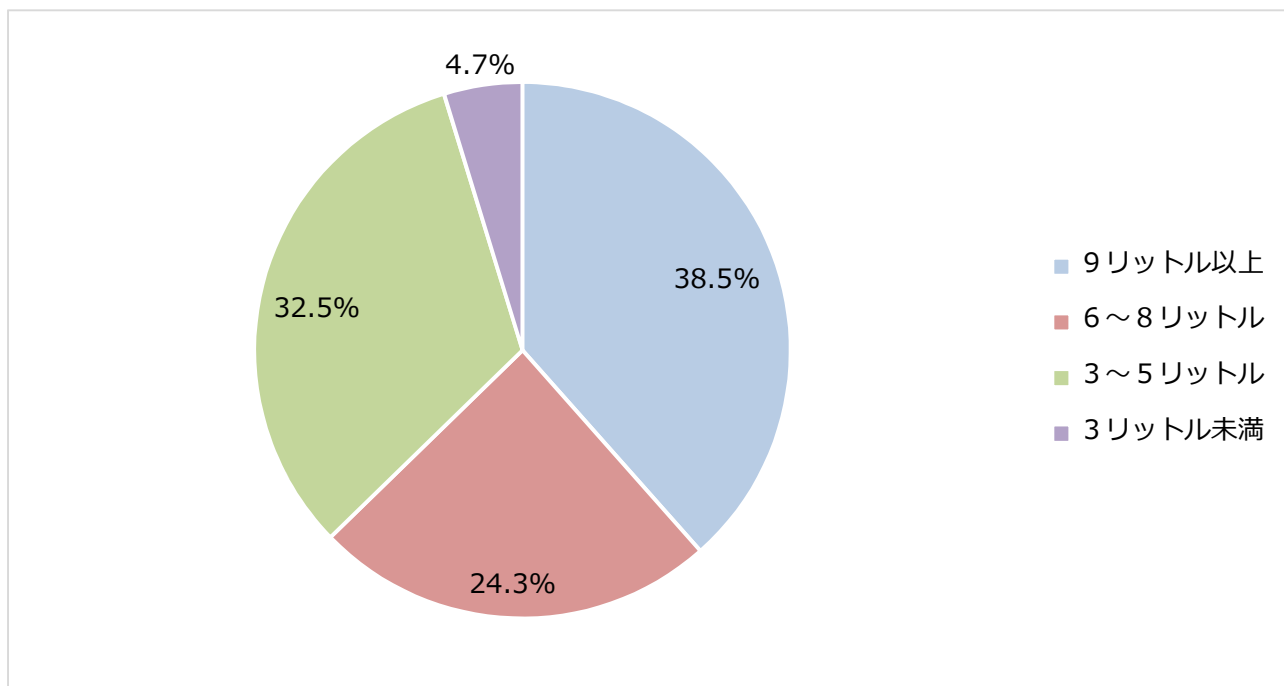


質問7 災害対策：水の備蓄

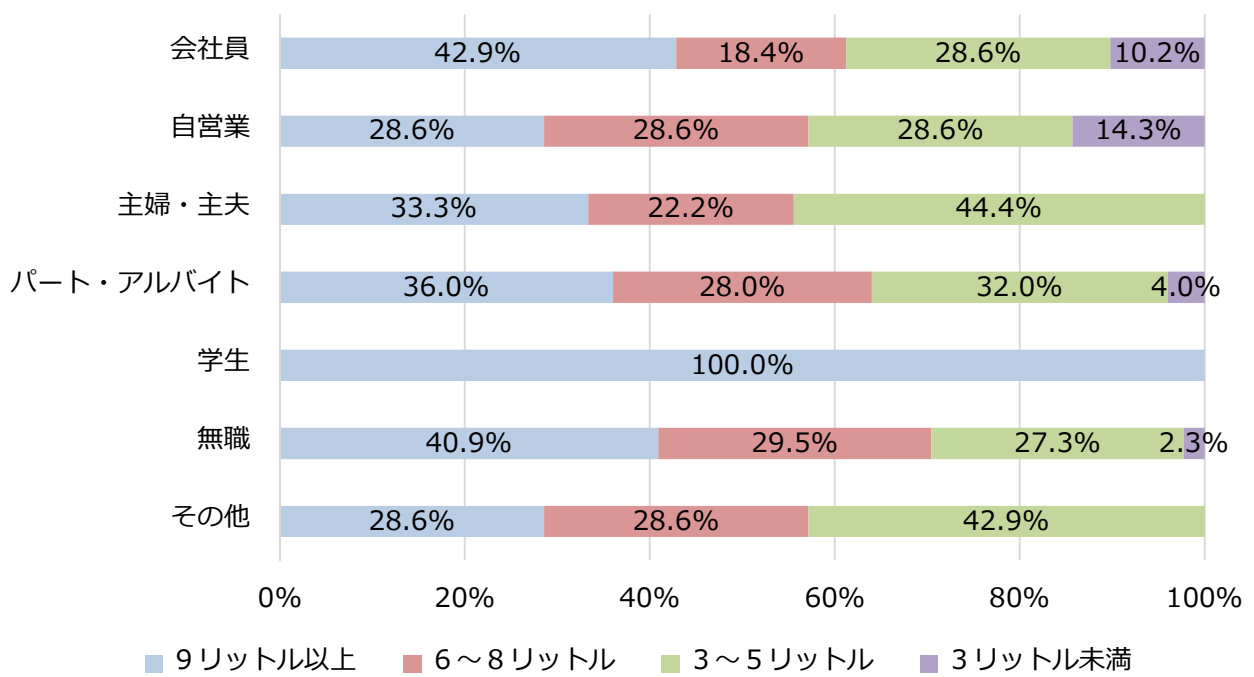
「災害対策として、一人あたりどれぐらいの量の水を備蓄すればよいと思いますか。」

「9リットル以上」と回答した人の割合が38.5%と最も高く、次に「3～5リットル」と回答した人の割合が32.5%、「6～8リットル」と回答した人の割合が24.3%、「3リットル未満」と回答した人の割合が4.7%となった。

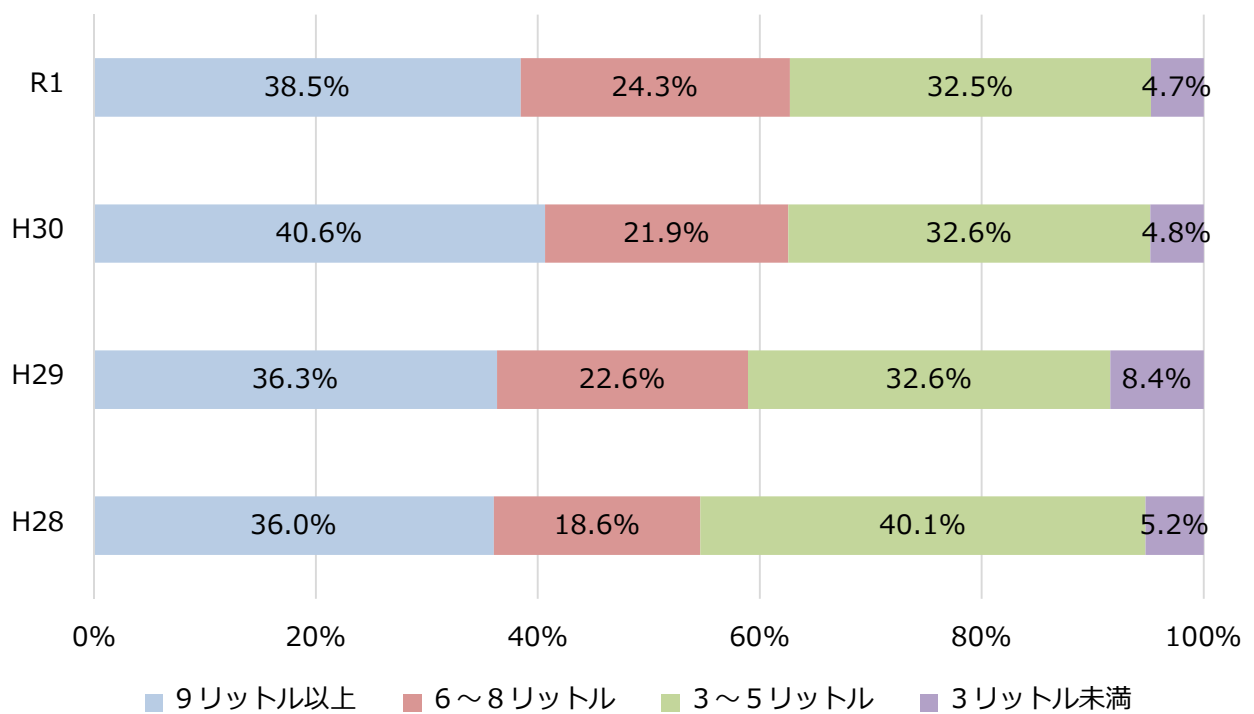
(※一人当たり9リットル（1日3リットルで3日分）が備蓄量の目安です。)



職業別



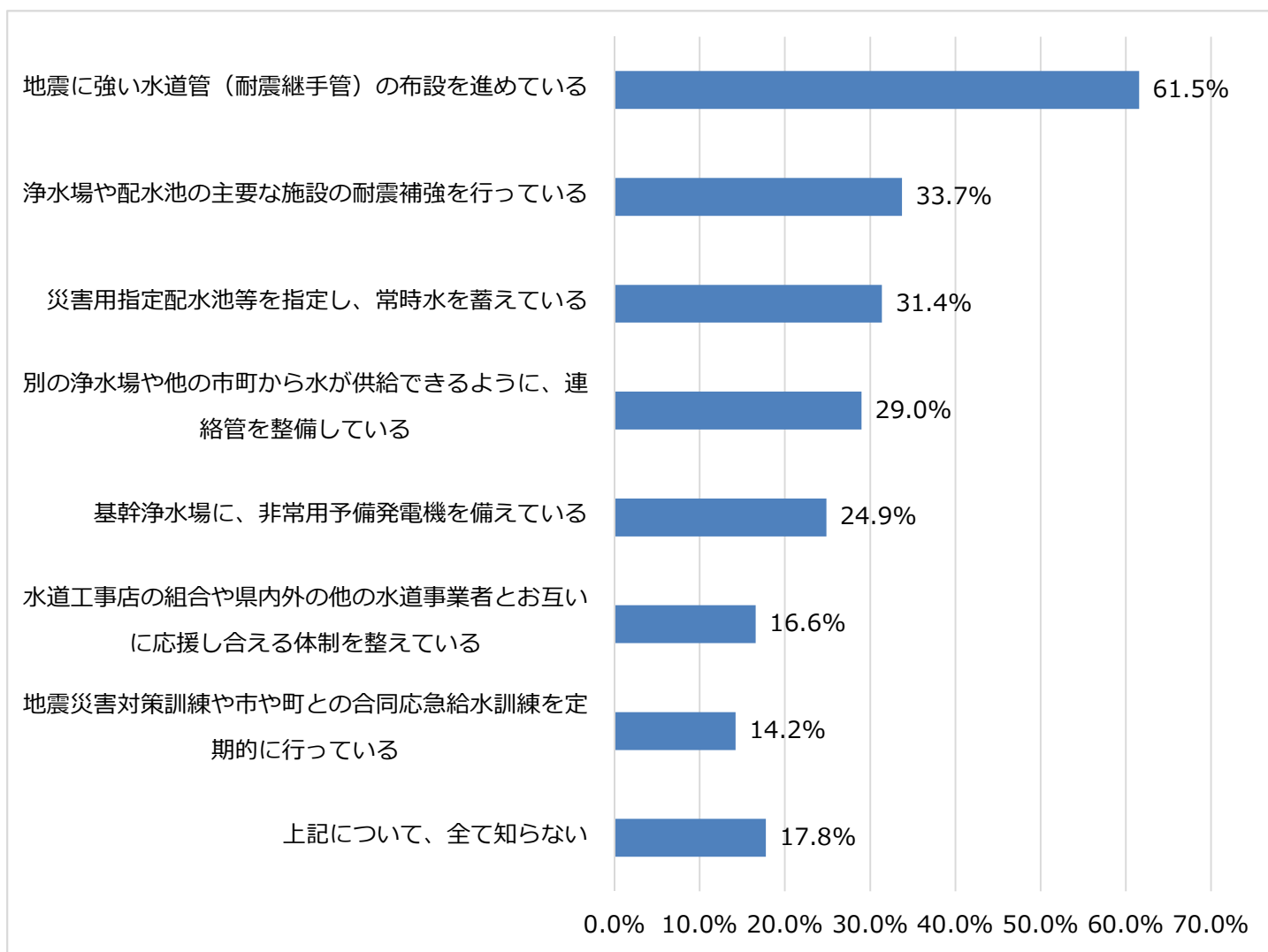
年度別



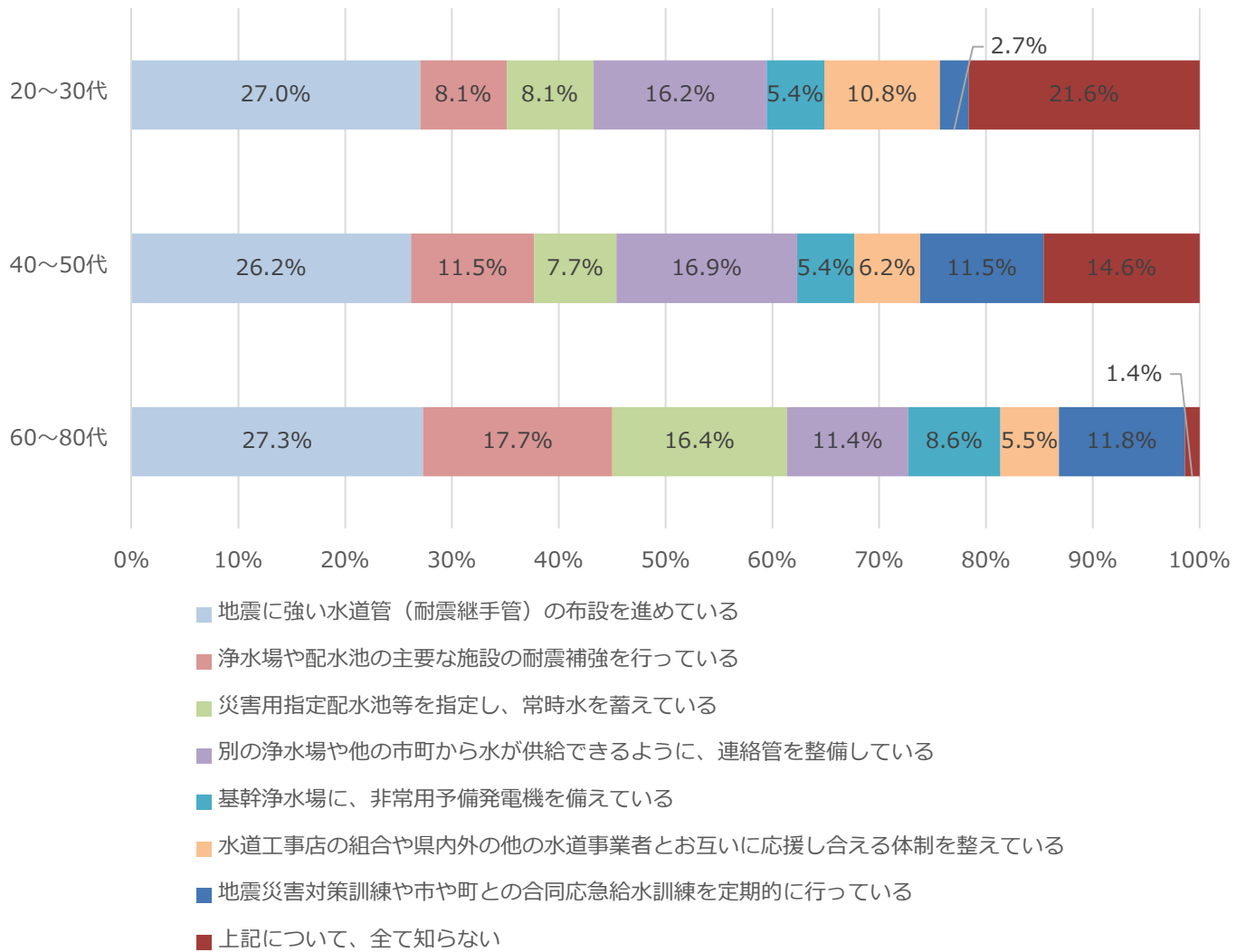
質問8 災害対策：県営水道の取組

「県営水道の災害対策について、ご存知のものはありますか。」（複数回答可）

「地震に強い耐震継手管の布設を進めている」と回答した人の割合が61.5%と最も高く、次に「耐震診断に基づいて、浄水場や配水池の主要な施設の耐震補強を行っている」と回答した人の割合が33.7%となっている。取組み全てを知らないと回答した人は2割弱の17.8%だった。



年代別



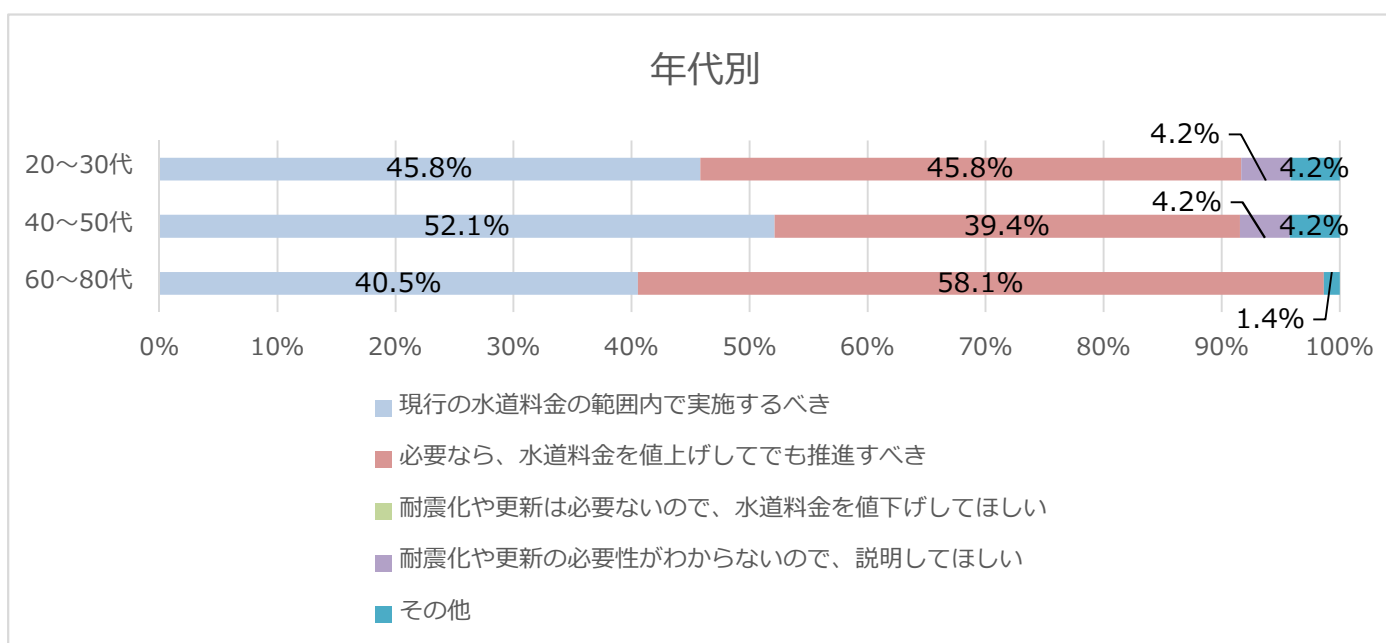
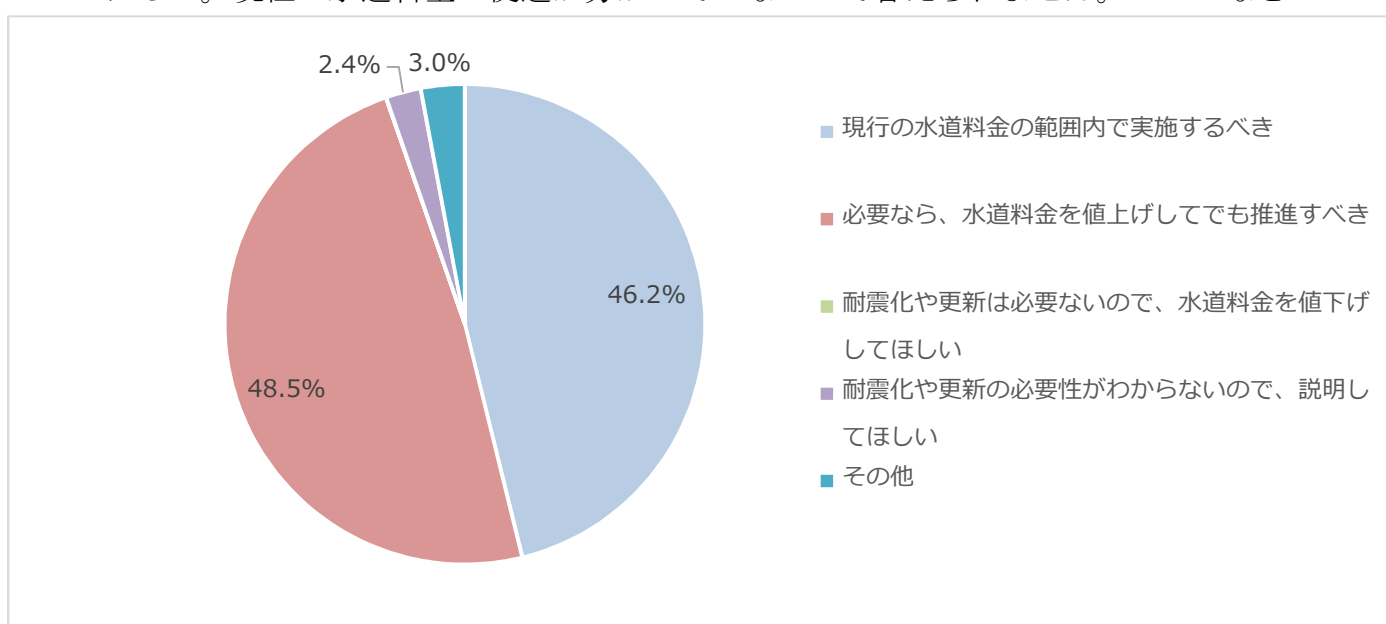
質問9 水道の施設整備

「水道施設の耐震化や老朽化した水道管の更新には、今後多くの費用がかかることが見込まれますが、このことについてどのように思いますか。」

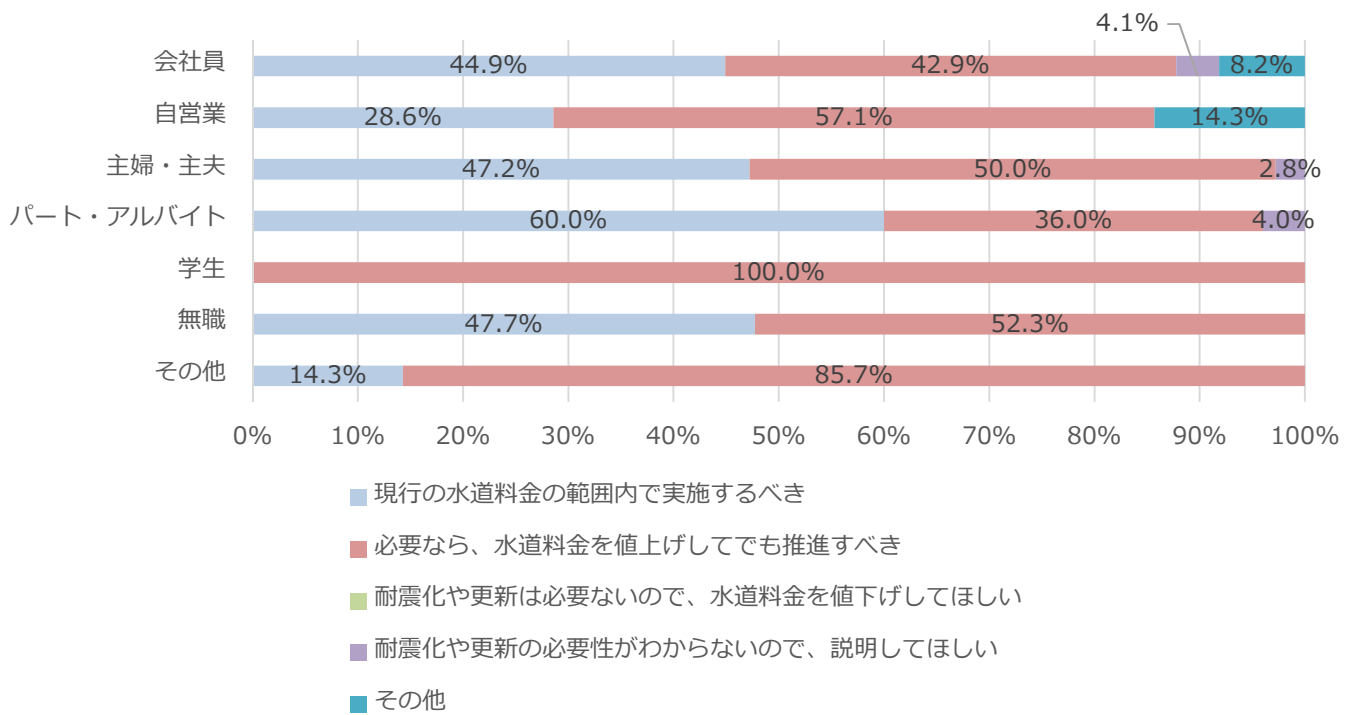
「現行の水道料金の範囲内で実施するべきである」と回答した人の割合が 46.2%、「必要であれば、水道料金を値上げしてでも、さらに推進すべきである」と回答した人の割合が 48.2%、「水道施設の耐震化や老朽化した水道管の更新は必要なく、水道料金を値下げしてほしい（何か起きた際に、断水して直すだけで十分である）」と回答した人はいなかった。

※「その他」のご回答

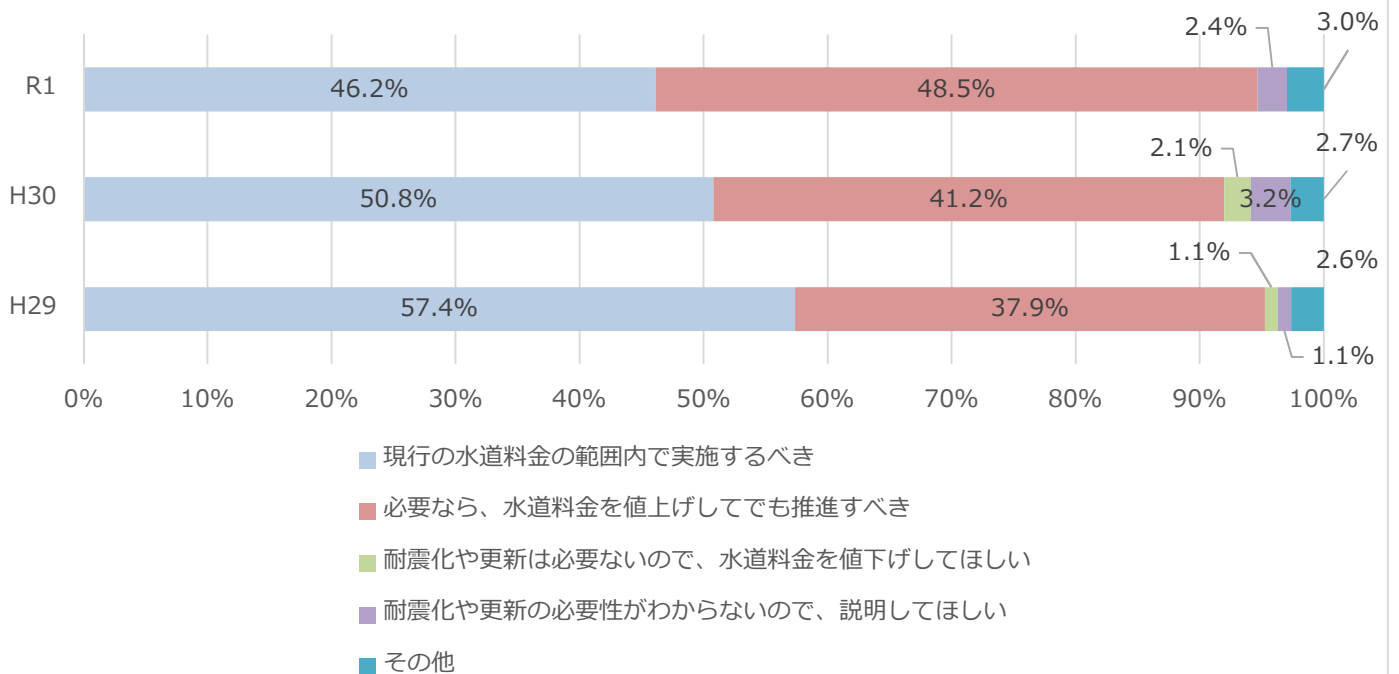
- ・水道料金に加算しないで別の支払いで対応してほしい、必要なインフラには公費を充ててほしい。現在の水道料金の使途が分かっていないので答えられません。 など



職業別



年度別

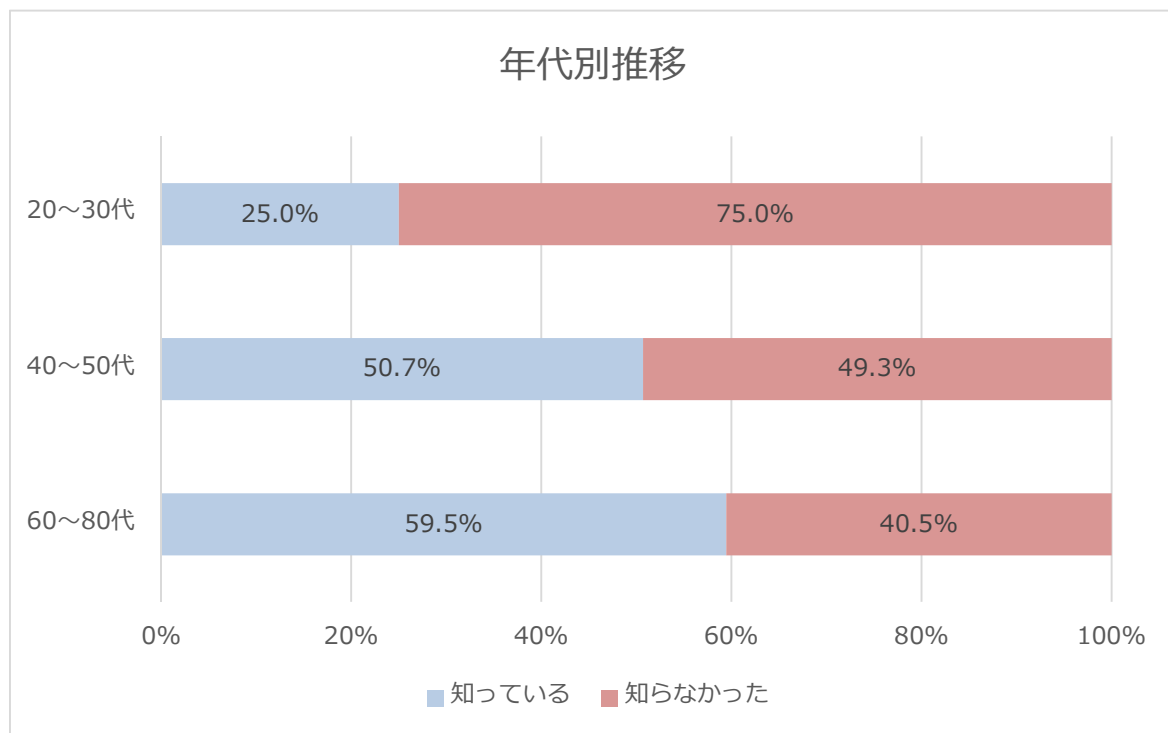
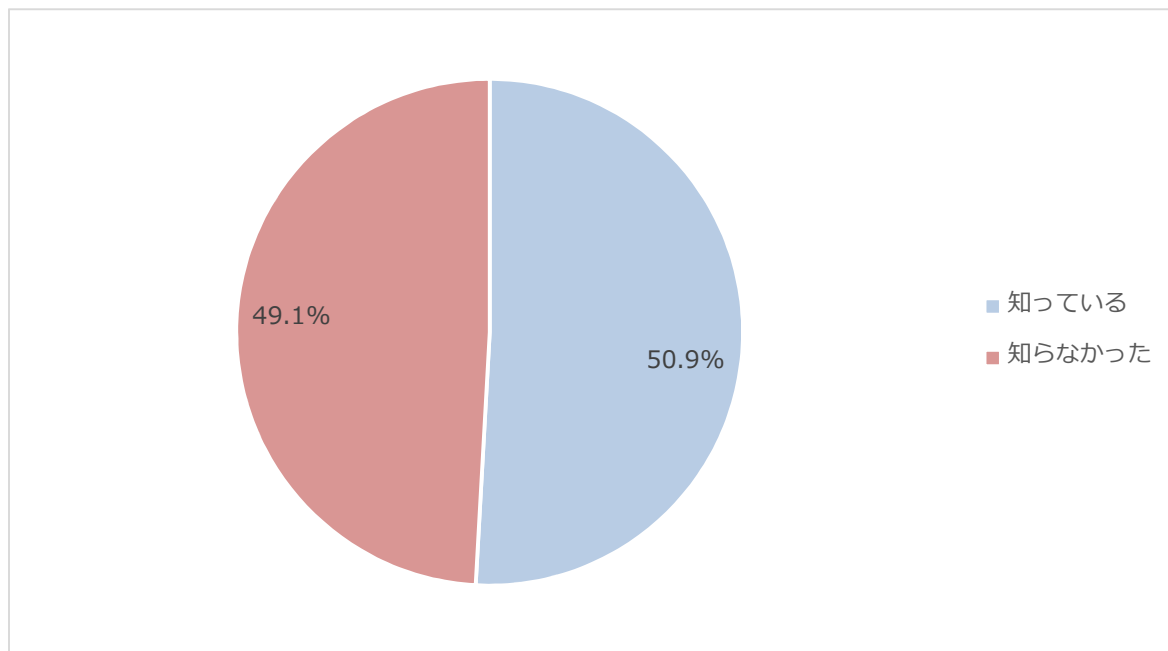


質問 10 かながわの水がめの貯水状況

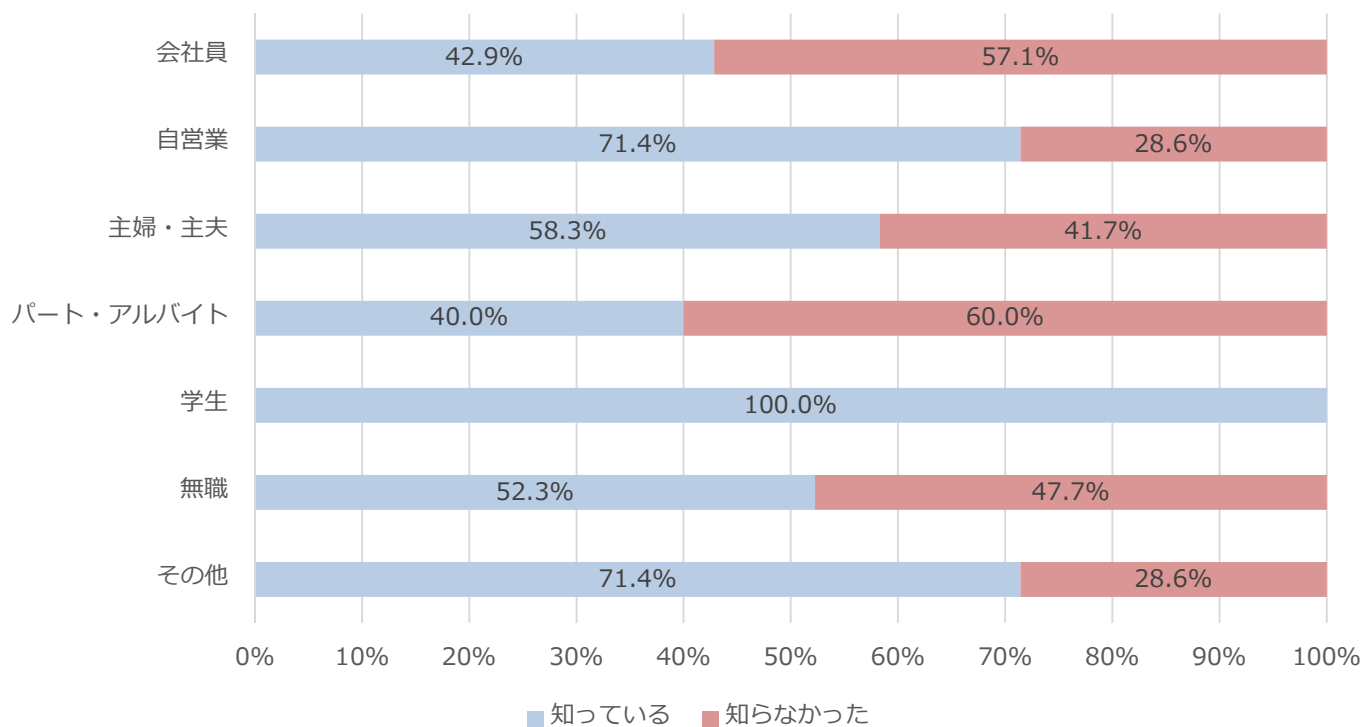
「神奈川県企業庁では、県内のダムの貯水量について、毎日ホームページで更新してお知らせしていますが、このことについてご存知ですか。」

参考 URL: http://kanagawa-dam.jp/web_data/news_mizugame.html

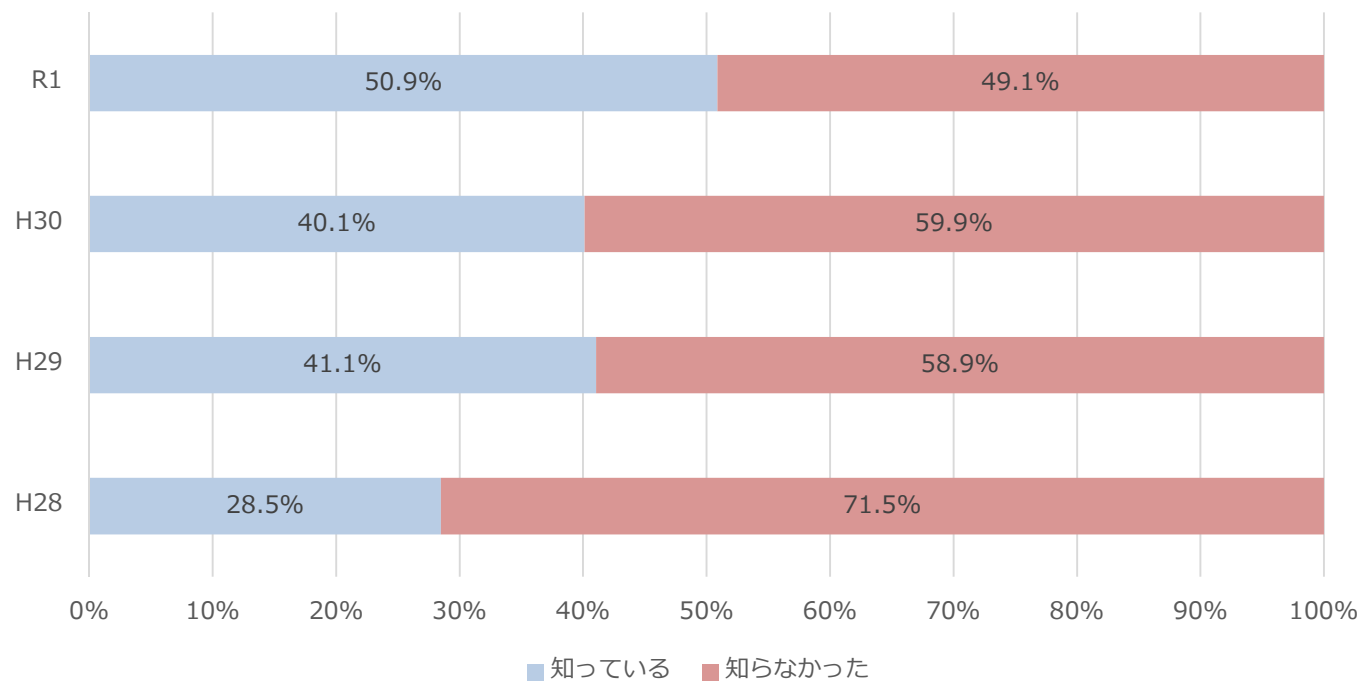
「知っている」と回答した人の割合が 50.9%、「知らなかった」と回答した人の割合が 49.1% となった。



職業別推移



年度別推移



<資料> 令和元年度 第2回 水道フレンズアンケート調査票
(※アンケート調査は終了しています。)

〔基本情報〕

- 質問 名前【必須】
- 質問 フレンズ番号
- 質問 登録メールアドレス【必須】
- 質問 職業【必須】
- 質問 次のどちらのタイプの住宅にお住まいですか。【必須】

- 1 一戸建て住宅
- 2 2階建てまでの共同住宅（団地、マンション、アパート等）
- 3 3階建て以上の共同住宅（団地、マンション、アパート等）

〔水道水の飲用〕

- 質問1 普段から県営水道の水道水を飲んでいただけますか。【必須】

- 1 直接飲むことが多いと思う
(煮沸後の水道水をコーヒー等に使用する場合も含む)
- 2 浄水器等を使用して飲むことが多いと思う
- 3 ほとんど水道水は飲まないと思う

〔水道水のおいしさ〕

- 質問2 県営水道の水道水をそのまま飲んだ時に、おいしいと思いますか。【必須】

- 1 おいしい
- 2 ややおいしい
- 3 普通
- 4 ややおいしくない
- 5 おいしくない

〔水道水の水質〕

- 質問3 県営水道の水道水の水質は安心だと思えますか。【必須】

- 1 安心だと思う
- 2 浄水器等を使用すれば安心だと思う
- 3 不安だと思う
- 4 どちらともいえない

- 質問4 質問3で「安心だと思う」とお答えの方にお聞きします。
安心できる理由をお選びください。

(あなたのお考えに近いものを1つだけお選びください。)

- 1 嫌なにおいや味がしないから
- 2 県営水道で水質管理をしているから
- 3 色や濁りがないから
- 4 おいしいから
- 5 利用していて問題がないから

質問5 質問3で「浄水器等を使用すれば安心だと思う」または「不安だと思う」とお答えの方にお聞きします。

浄水器等を使用する理由、または不安だと思う理由をお選びください。

(あなたのお考えに近いものを1つだけお選びください。)

- 1 嫌なにおいや味がするから
- 2 県営水道の水質管理が不安だから
- 3 色や濁りがあるから
- 4 おいしくないから
- 5 マンション等の受水槽の管理が心配だから
- 6 その他(具体的に:)

〔節水意識〕

質問6 あなたはご家庭で節水を意識していますか。【必須】

- 1 常に意識している
- 2 時々意識している
- 3 特に意識はしていない

〔節水行動〕

質問7 あなたが節水に最も効果的であると感じる行動はどれだと思いますか。
実際に行動をしていなくても、イメージ等で1つだけお選びください。

【必須】

- 1 洗面、食器洗い時のこまめなじゃ口の開閉
- 2 風呂の残り湯の庭への散水や洗濯等への活用
- 3 雨水の活用
- 4 特にない
- 5 その他(具体的に:)

〔災害対策：断水の発生〕

質問 8 水道が断水した際に、あなたが一番困ることは何だと思えますか。

(1つだけお選びください。) 【必須】

- 1 飲み水や調理
- 2 トイレの水洗
- 3 衣服等の洗濯
- 4 風呂やシャワー（洗面、洗髪等）
- 5 その他（具体的に： _____)

〔災害対策：水の備蓄〕

質問 9 災害対策として、家庭内に一人あたりどれくらいの量の水を備蓄すればよいと思えますか。 【必須】

- 1 3リットル未満
- 2 3～5リットル
- 3 6～8リットル
- 4 9リットル以上

〔災害対策：県営水道の取組〕

質問 10 次にあげる県営水道の災害対策について、ご存知のものはありますか。

(複数回答可) 【必須】

- 1 地震に強い水道管（耐震継手管）の布設を進めている
- 2 浄水場や配水池の主要な施設の耐震補強を行っている
- 3 地震時に、別の浄水場や他の市町から水が供給できるように、連絡管を整備している
- 4 災害時の飲料水を確保するため、災害用指定配水池等を指定し、常時水を蓄えている（※地震災害の応急給水は市や町が主体となって行います）
- 5 地震で水道管が壊れた場合、水道工事店の組合や県内外の他の水道事業者とお互いに応援し合える体制を整えている
- 6 地震災害対策訓練や市や町との合同応急給水訓練を定期的に行っている
- 7 基幹浄水場（寒川浄水場・谷ヶ原浄水場）に、非常用予備発電機を備えている
- 8 1～7について、全て知らない

〔水道の施設整備〕

質問 11 現在、県営水道では、水道管路や浄水場などの水道施設の耐震化や、災害時に備えた対策として質問 10 の 1～7 について取組を進めています。

水道施設の耐震化や老朽化した水道管の更新には、今後多くの費用がかかることが見込まれますが、このことについてどのように思えますか。 【必須】

- 1 現行の水道料金の範囲内で実施するべきである

